

令和 3 年度
五城目町 公共交通に関するアンケート調査

アンケート調査実施報告書

令和 3 年 9 月

[目 次]

1 調査の目的	1
2 調査の実施方法等	1
2-1 調査対象・実施方法	1
2-2 回収結果	1
3 設問の構成	2
4 調査票	3
5 調査報告書の見方	11
6 調査結果	12
6-1 調査結果	12

1 調査の目的

○町民の移動実態の把握、現行公共交通に対する町民の意向や見直しの検討などを把握するためアンケート調査を実施する。

2 調査の実施方法等

2-1 調査対象・実施方法

調査対象者	町内に居住する 18 歳以上 85 歳以下の男女 1,500 人
対象者数	1,500 人
調査対象地区	五城目町全域
調査方法	郵送配布、郵送または WEB による回収
調査時期	令和 3 年 7 月 7 日（水）～令和 3 年 7 月 26 日（月）

2-2 回収結果

配布枚数	1,500 枚
回収数	郵送：652 票 WEB：67 票
無効票	郵送：13 票 WEB：19 票
有効回収数	郵送：639 票 WEB：48 票 合計：687 票
有効回収率	45.8%

3 設問の構成

○本調査の設問項目は、以下の通りです。

表 設問項目及び内容

設問項目	設問内容
①調査対象者の属性	性別／年齢／住まい／職業／免許の保有状況／自家用車の保有状況／免許返納予定 など
②公共交通の利用	公共交通の利用の有無／利用できない理由／利用したい運行内容 など
③利用時の不安点	運行内容がわからない／予約方法がわからない／支払い方法がわからない など
④公共交通以外の移動サービス	患者送迎、買い物バスなどの施設が運行する移動サービスの実態／訪問医療、訪問販売など、移動を伴わないサービスの実態 など
⑤取り組みの評価	計画に示す施策の認知、評価 など
⑥公共交通のあり方	町民が考える町にとって必要な公共交通サービスの水準 など

公共交通に関するアンケート

日常の外出や公共交通に関するアンケート調査へ
ご協力をお願いします。

五城目町地域公共交通協議会と五城目町では現在、地域の皆さまの移動手段として、将来的にも持続可能な公共交通を目指すため、「公共交通のあり方」の検討を進めています。

今後の検討を進める上で、皆さまの外出の実態や公共交通の利用状況などを把握することが重要であると考えており、そのような趣旨から地域住民を対象としたアンケート調査を実施することとしました。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

五城目町地域公共交通協議会

【ご記入にあたって】

- この調査は、18 歳以上の町民から無作為に 1,500 人を抽出し実施しています。
- この調査は宛名のご本人がご回答ください。もしご本人による記入が困難な場合には、ご家族の方などがご本人の考えを聞き代理でご記入ください。
- ご回答いただいた内容は統計的な分析のみに利用し、それ以外の目的で利用することはありません。また、お名前をご記入いただく必要はありませんので、回答者個人を特定するようなことはありません。
- ご回答はこのアンケート調査票に直接記入するか、右の QR コードを読み込むことで WEB 上での回答が可能です。



ここから
アクセス!!
←

【URL】 <https://forms.gle/tGEnPDbHYAVAjGjn7>

- 直接記入された方は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函してください。
- WEB 回答期限および投函締切はいずれも 令和3年7月26日（月） までとなります。

●この調査について不明なことがあればお問い合わせください。

○調査の実施主体・調査票の返送先・お問い合わせ先

【調査発注者】五城目町地域公共交通協議会 事務局 TEL：018-852-5361
(五城目町まちづくり課公共交通担当)

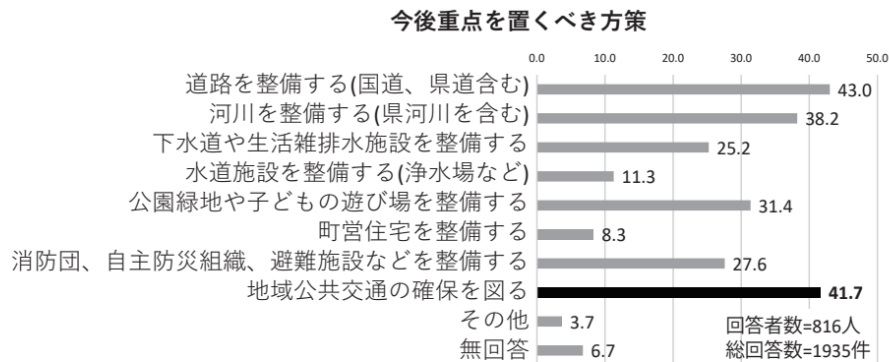
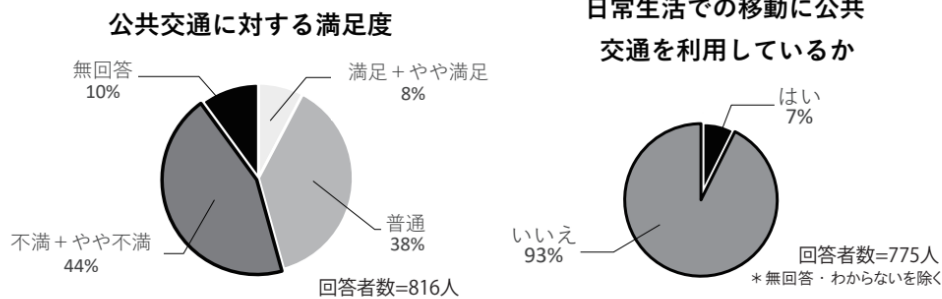
【調査委託事業者】株式会社ケー・シー・エス 秋田営業所 TEL：080-7746-3092

【はじめにお読みください】

五城目町では、町の施策に対する町民の意見を把握することを目的に、令和3年4月に町内在住の18歳以上の住民2,000人を対象とした調査を行っており、816票の回答を得られました。

■公共交通に関する回答結果概要

- 満足度については、全体の約4割が公共交通に何らかの不満を抱いている。
- 利用割合については、日常生活での利用は全体の1割以下と非常に少ない。
- 重点方策については、地域公共交通の確保の回答割合は比較的高い。



なお、町が主体的に運行している「デマンド型乗合タクシー」は町民の皆さんに利用いただくことで、令和2年度は約290万円の収入を得ていますが、運行には年間約1,400万円の費用が生じており、毎年1,100万円以上の赤字で推移しています。

将来の公共交通を維持するため、今後は限りある「財源」と「交通資源」を有効活用することで、「公共交通を使いたくても使うことができない町民の移動手段の確保」を重点的かつ効率的に取り組む必要があります。

以上を踏まえて、以降の設問にご回答ください。

問1 公共交通の利用状況についてお聞きします。

問1-1 最近30日以内に「五城目町内」で公共交通（乗合タクシー・バスなど）を利用しましたか？（あてはまるもの1つに○）

1. 利用した → 「問2」へお進みください。
2. 利用していない → 「問1-2」へお進みください。

問1-2 現在、公共交通を利用していない理由はなんですか？（あてはまるもの1つに○）

1. 自家用車等の移動手段があるので、利用する必要がない → 「問2」へお進みください。
2. 身体的な理由により、福祉面で移動サポートを受けているから → 「問2」へお進みください。
3. 理由があって利用することができない・していない → 「問1-3」へお進みください。

問1-3 あなたが現在、公共交通を利用しない（できない）理由はなんですか？（あてはまるもの全てに○）

運行に関すること

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 自宅や目的地から乗降場所までの距離が遠い | 2. 乗降場所まで歩くのが大変（坂道など） |
| 3. 運行する曜日が外出日と合わない | 4. 出発する時間帯が運行時間と合わない |
| 5. 帰宅する時間帯が運行時間と合わない | 6. 自分の行きたい目的地に行かない |
| 7. バス同士の乗換時間が合わない | 8. バス⇄鉄道の乗換時間が合わない |
| 9. バス⇄乗合タクシーの乗換時間が合わない | 10. 鉄道⇄乗合タクシーの乗換時間が合わない |
| 11. 1度の外出で複数の用事を済ませられない | |

利用環境に関すること

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 12. 車両の段差の乗り降りが困難・大変 | 13. 移動に掛かる運賃が高い |
| 14. 乗降場所の待合環境が整っていない | 15. 運転手の接客が悪い |
| 16. 子供と一緒に乗りづらい | |

利用方法・情報発信などに関すること

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 17. 利用方法がわからない | 18. いつ運行しているのかわからない |
| 19. どこに行けるのかわからない | 20. 目的地までの料金がわからない |
| 21. どの車両に乗ればいいのかわからない | 22. 電話で予約するのが面倒 |
| 23. 現金で運賃を支払うのが面倒 | 24. 利用券で運賃を支払うのが面倒 |

新型コロナウイルスに関すること

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 25. 在宅勤務・リモート授業等になったから | 26. 外出の自粛を行っているから |
| 27. 人との接触機会を減らしたいから | 28. 密な環境になる可能性があるから |
| 29. 換気等の対策が不安だから | |

30. その他 ※具体的に：

問1-4 お住まいの地区を運行している公共交通はなんですか？（あてはまるもの全てに○）

1. 五城目町デマンド型乗合タクシー 2. 路線バス
3. 一般タクシー 4. その他（ ）

問1-5) どのような目的で公共交通を利用したいですか？（あてはまるもの全てに○）

1. 買物（食料品など） 2. 買物（服飾品など） 3. 買物（その他雑貨）
4. 通勤（業務中の移動を除く） 5. 通学 6. 業務（通勤以外）
7. 通院・通所 8. 金融機関 9. 娯楽・趣味
10. 教室・セミナー・サロン 11. 家族や友人宅
12. その他（具体的に： ）

問1-6 問1-5で回答した目的のために、自宅を何時頃に出発して、何時頃に帰宅したいですか？
午前・午後の1つに○を付け、10分単位で時刻を記入してください。

行き	具体的な出発地 から
	自宅 もしくは 1 ～ 12 を記入 0 ～ 50 を記入 時 分に
	(午前 ・ 午後) 分に
	具体的な到着地 に向けて出発する
帰り	具体的な出発地 から
	自宅 もしくは 1 ～ 12 を記入 0 ～ 50 を記入 時 分に
	(午前 ・ 午後) 分に
	具体的な到着地 に向けて出発する

問1-7) どのような移動手段で移動したいですか？（最もあてはまるもの1つに○）

1. 毎日、朝と夕方の2往復で近所のバス停まで運行するバス
2. 毎日、朝・昼・夕方の3往復で近所のバス停まで運行するバス
3. 毎日、1時間に1本で近所のバス停まで運行するバス
4. 毎日、30分に1本以上で近所のバス停まで運行するバス
5. 毎日、1日1往復程度で近所のバス停まで運行するバス
6. 毎日ではなく、決まった曜日に1～3往復程度で近所のバス停まで運行するバス
7. 毎日ではなく、外出したいときだけ予約に応じて近所のバス停まで運行するバス
8. 毎日ではなく、外出したいときだけ予約に応じて自宅まで運行する乗合タクシー
9. その他（ ）

問1-8 これまでお答えいただいた要望が満たされれば公共交通を利用しますか？
(あてはまるもの1つに○)

1. 利用する 2. 利用しない 3. わからない

→「問2」にお進みください。

問2 自家用車・公共交通『以外』の移動手段についてお聞きます。

問2-1 「買物をする」場合、お店が運行している買物支援バスなどに関する情報を見たり・聞いたりしたことはありますか？（あてはまるもの1つに○）

1. ある → ●具体的なサービス名・店舗（施設）名を教えてください
2. ない

問2-2 「診療を受ける」場合、病院・診療所が運行している通院バスなどに関する情報を見たり・聞いたりしたことはありますか？（あてはまるもの1つに○）

1. ある → ●具体的なサービス名・病院・診療所名を教えてください
2. ない

問3 現在の五城目町の公共交通に関する満足度についてお聞きます。

問3-1

町内を運行する公共交通サービスに対するあなたの【満足度】と【重要度】について、満足度は1～5、重要度はA～Cの中で最も当てはまるものを教えてください。（それぞれ最もあてはまるもの1つに○）

		【満足度】					【重要度】		
		1 満足	2 満や 足や	3 普通	4 不や 満や	5 不満	A 重と ても	B 重要	C は重 な要 いで
路線バス	ア. 運行本数や時間帯	1	2	3	4	5	A	B	C
	イ. 利用時の運賃	1	2	3	4	5	A	B	C
	ウ. 公共交通間の乗継時間	1	2	3	4	5	A	B	C
乗合タクシー	エ. 運行本数や時間帯	1	2	3	4	5	A	B	C
	オ. 利用時の運賃	1	2	3	4	5	A	B	C
	カ. 公共交通間の乗継時間	1	2	3	4	5	A	B	C
	キ. 乗降可能な個所数や場所	1	2	3	4	5	A	B	C
	ク. 乗降する場所から目的地までの距離	1	2	3	4	5	A	B	C
	ケ. 利用時の予約方法（電話）	1	2	3	4	5	A	B	C
	コ. 運賃の支払い方法	1	2	3	4	5	A	B	C
利用環境	サ. 車両の大きさや乗降しやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C
	シ. 停留所・待合所の環境	1	2	3	4	5	A	B	C
	ス. 遅延や運休などの運行情報発信	1	2	3	4	5	A	B	C
	セ. 路線図・時刻表の内容	1	2	3	4	5	A	B	C
	ソ. 利用促進資料（時刻表・マップ等）の内容	1	2	3	4	5	A	B	C

5

→「問4」にお進みください。

問4

五城目町の公共交通のあり方についてお聞きます。

問4-1 公共交通にどのような役割を期待しますか？（最も期待するもの1つに○）

1. 自分が日々の生活のための移動手段としての役割
2. 自分が必要なときに使える移動手段としての役割
3. 自分が車を運転できなくなった時などの、日々の生活のための移動手段としての役割
4. 自分以外の自動車を運転できない人の日々の生活のための移動手段としての役割
5. 町外からの観光客や親せきなど、他所から来る人の移動手段としての役割
6. まちの活性化や活力に繋げる役割
7. 誰にとってもさほど重要な役割は果たしていない
8. その他（ ）

問4-2 今後の五城目町の公共交通のあり方として、どの考え方が最も近いですか？（最もあてはまるもの1つに○）

1. 公共交通に対する町の負担を増やしてもサービスレベルの向上を図ったほうが良い
2. 町の負担は維持しながら、できる範囲でのサービスレベルを提供するほうが良い
3. 町の負担は維持しながらも、地域や企業等の財政支援や連携をしてサービスレベルの向上を図ったほうが良い
4. 町の負担を減らしていき必要最低限のサービスレベルを維持する方が良い
5. その他（ ）

問4-3 日常生活においてきめ細やかな移動手段の確保と維持は重要な課題となっています。「公共交通の維持」のために、お住まいの地域ではどのような取り組みが可能だと思いますか？（最もあてはまるもの1つに○）

具体の取り組み例

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 地域が主体となった交通サービスの検討 → | 地域・町内会が中心となり、町や企業の協力のもと、交通事業者へ委託しサービスを展開 |
| 2. 公共交通の利用促進協議会の立ち上げ → | 公共交通の利用促進に向けた協議会を立ち上げ、施策・事業等を検討・実施 |
| 3. 公共交通サポーター制度の導入 → | 町内会や各世帯が年会費等を支払い、乗車運賃を割引し、公共交通利用を促進 |
| 4. 地域市民によるバス停の環境改善 → | 各町内会等でバス停の清掃や除雪、商店や民家等を活用したベンチの設置などのボランティア活動を実施 |
| 5. 利用促進イベント等への主体的な参加 → | 利用促進イベントへの参加や運営側としての参画など、主体的に関わる |
| 6. 意見交換会・検討会等へ参加 → | 公共交通に関するお困りごとを利用者の立場から意見・要望として述べる |
| 7. 地域主体の取り組みは難しいと思う | |

問5 最後にあなたご自身についてお聞きします。

性 別	●性別を教えてください。（あてはまるもの1つに○） 1. 男性 2. 女性
年 齢	●年齢を教えてください。（あてはまるもの1つに○） 1. 18～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75～79歳 10. 80歳以上
職 業	●職業を教えてください。（あてはまるもの1つに○） 1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. 学生 5. パート・アルバイト 6. 主婦（主夫） 7. 無職 8. その他（ ）
居住地	●お住まいの地区を教えてください。（あてはまるもの1つに○） 1. 五城目地区 2. 森山地区 3. 馬場目地区 4. 富津内地区 5. 内川地区 6. 大川地区 7. 馬川地区
自家用車 の有無	●自家用車の保有状況を教えてください。（あてはまるもの1つに○） 1. 自家用車を所有していて、主に自分が使用している 2. 自家用車を所有しているが、主に自分以外の家族等が利用している 3. 世帯で自家用車は所有していない
運転免許証 の有無	●普通自動車運転免許証の返納について教えてください。（あてはまるもの1つに○） 1. 所有していて、返納の予定はない ↳ 返納しない・できない理由を教えてください。（あてはまるもの全てに○） 1. 通勤など仕事で車が必要だから 2. 買い物や通院などで車が必要だから 3. 家族の送迎などで車が必要だから 4. 運転することが趣味だから 5. 自家用車以外の移動手段の利用に不安を感じているから 6. 免許を返納することにメリットを感じないから 7. とくに理由はない 8. その他（ ） 2. 所有していて、返納を検討している → 返納時期（ 年以内 ） 3. 返納したため、所有していない 4. 一度も運転免許証を所有したことはない

5 調査報告書の見方

- 図表中の「N」は設問の有効回答数を示します。
- 図表中の「MA」は複数回答の設問での有効回答数合計を示します。
- 調査結果のグラフは、各回答の比率（％）で表示しています。
- 各回答の比率（％）は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、各回答の比率（％）の合計が100％にならない場合があります。
- 複数回答は、「非該当」は除いているため、合計値は回答者全体の数と一致しない場合があります。
- 複数回答の場合、回答件数の合計は回答者数(100％)を超える場合があります。
- 自由意見は、調査票に記入された内容をほぼ原文どおりに記載しています(特定の団体や企業、個人が特定できる表現は削除しています)。
- 一つに回答に対して複数回答している等、本人の意思が読み取れない回答については集計上無回答に分類しています。
- 地区ごとの集計は下図の区分けに沿って分類しています。

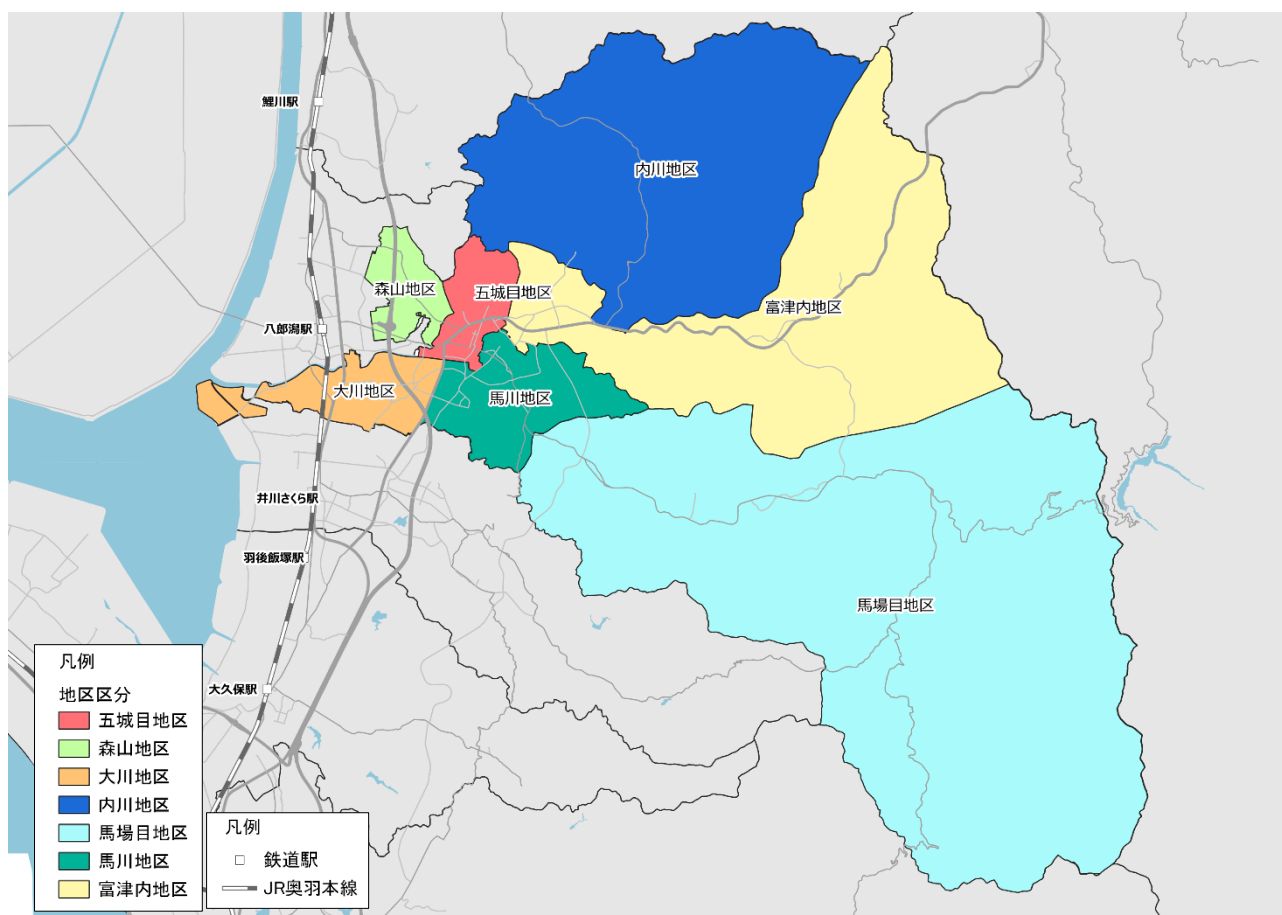


図 地区区分

6 調査結果

6-1 調査結果

6-1-1 公共交通の利用状況について

(1) 【問 1-1】最近 30 日以内の五城目町内での公共交通の利用状況

- ・最近 30 日以内の五城目町内での公共交通の利用状況では、「利用した」が 7.3%(50 人)、「利用していない」が 92.7%(637 人) となっている。

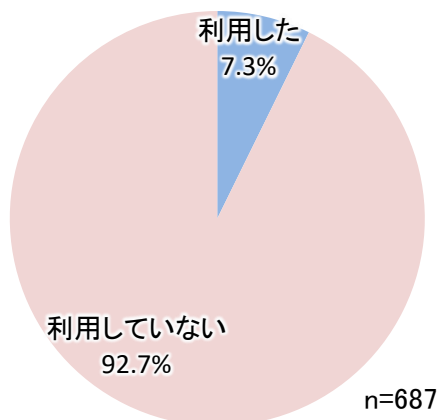


表 最近 30 日以内の五城目町内での公共交通の利用状況

	回答数	割合
利用した	50	7.3%
利用していない	637	92.7%
無回答	0	0.0%
合計	687	100.0%

図 最近 30 日以内の五城目町内での公共交通の利用状況

(2) 【問 1-2】現在、公共交通を利用していない理由※最近 30 日以内に五城目町内で公共交通を「利用していない」と答えた人のみ

- ・現在、公共交通を利用していない理由では、「自家用車等の移動手段があるので、利用する必要がない」が 9 割を占めている。

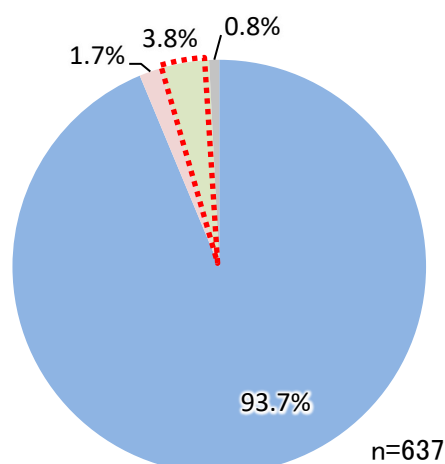


表 現在、公共交通を利用していない理由

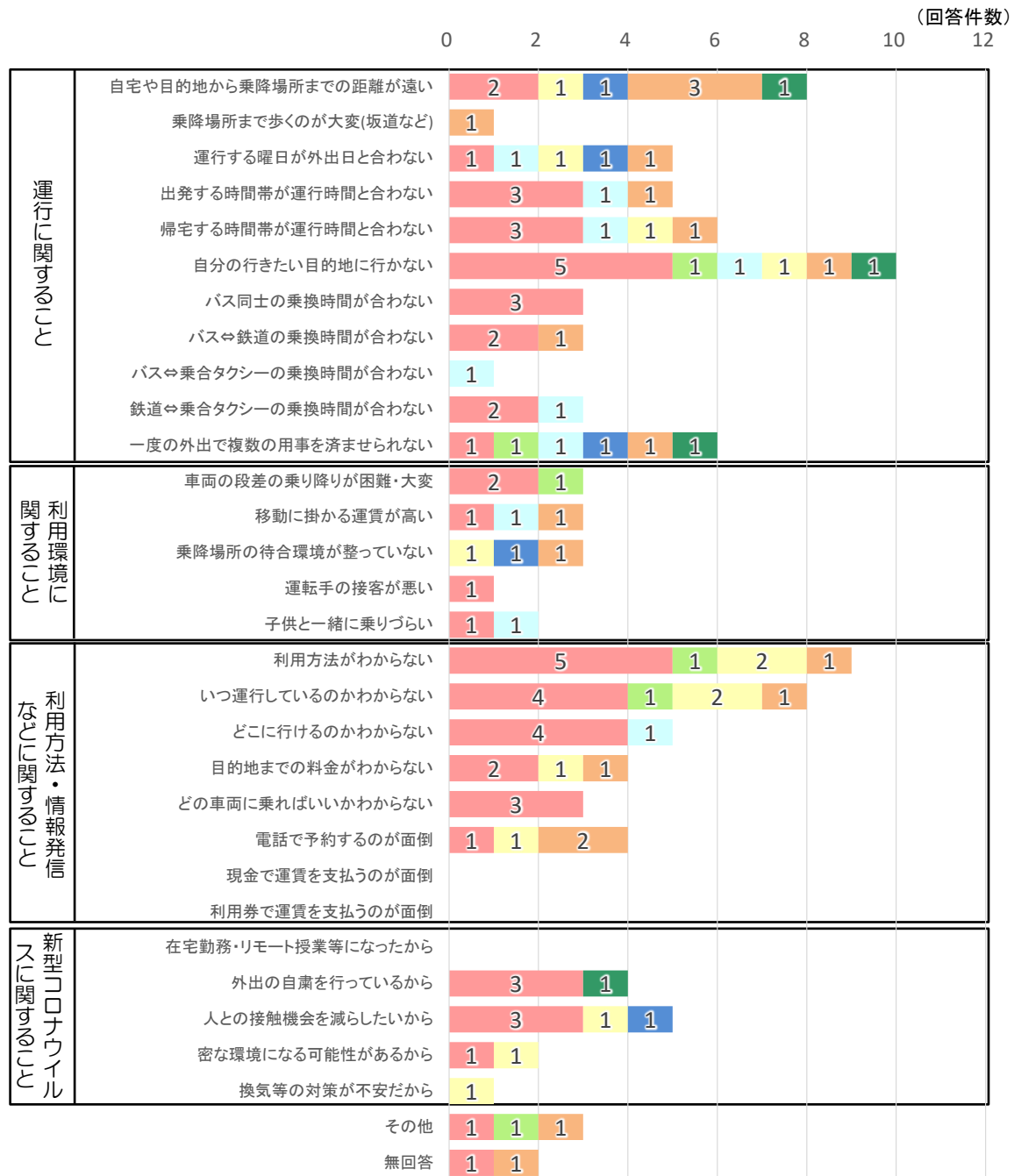
	回答数	割合
自家用車等の移動手段があるので、利用する必要がない	597	93.7%
身体的な理由により、福祉面で移動サポートを受けているから	11	1.7%
理由があって利用することができない・していない	24	3.8%
無回答	5	0.8%
合計	637	100.0%

- 自家用車等の移動手段があるので、利用する必要がない
- 身体的な理由により、福祉面で移動サポートを受けているから
- 理由があって利用することができない・していない
- 無回答

図 現在、公共交通を利用していない理由

(3) 【問 1-3】公共交通を利用しない（できない）理由※最近 30 日以内に五城目町内で公共交通を「利用していない」、公共交通を「理由があって利用することができない・していない」と答えた人のみ

- ・公共交通を利用しない（できない）理由では、「自分の行きたい目的地に行かない」「利用方法がわからない」への回答が多くなっている。



■ 五城目地区 (n=10, MA=55) ■ 森山地区 (n=2, MA=6) ■ 馬場目地区 (n=1, MA=10)
 ■ 富津内地区 (n=2, MA=14) ■ 内川地区 (n=3, MA=5) ■ 大川地区 (n=4, MA=19)
 ■ 馬川地区 (n=2, MA=4)

図 公共交通を利用しない（できない）理由（地区別）

(4) 【問 1-4】居住地区を運行している公共交通※最近 30 日以内に五城目町内で公共交通を「利用していない」、公共交通を「理由があって利用することができない・していない」と答えた人のみ

- ・居住地区を運行している公共交通では、「一般タクシー」が 45.8%(11 人) と最も高く、次いで「五城目町デマンド型乗合タクシー」と「路線バス」が 20.8%(5 人)と続いている。

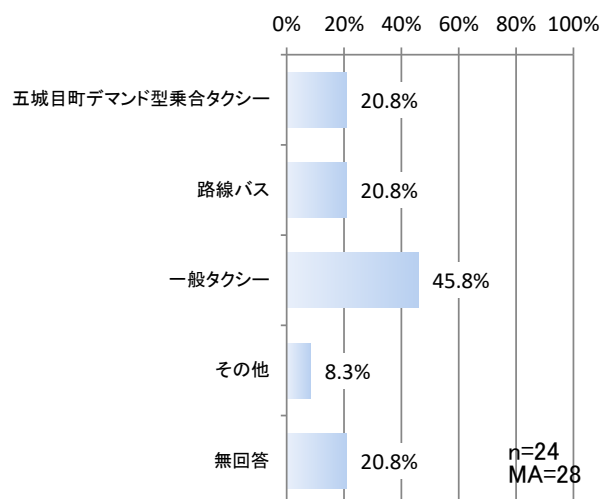


表 居住地区を運行している公共交通

	回答数	割合
五城目町デマンド型乗合タクシー	5	20.8%
路線バス	5	20.8%
一般タクシー	11	45.8%
その他	2	8.3%
無回答	5	20.8%
合計	28	116.7%

図 居住地区を運行している公共交通

(5) 【問 1-5】公共交通を利用したい目的※最近 30 日以内に五城目町内で公共交通を「利用していない」、公共交通を「理由があって利用することができない・していない」と答えた人のみ

- ・公共交通を利用したい目的では、「買物（食料品など）」と「通院・通所」が 50.0%(12 人) と最も高くなっている。

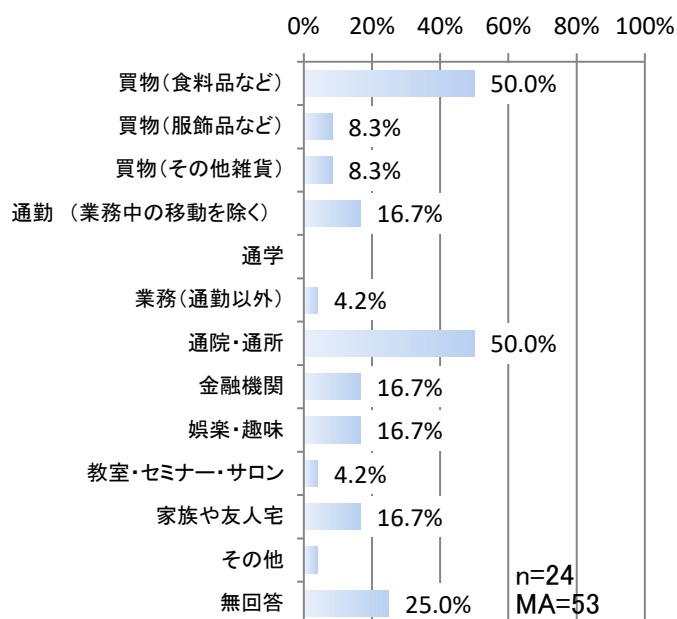


表 公共交通を利用したい目的

	回答数	割合
買物(食料品など)	12	50.0%
買物(服飾品など)	2	8.3%
買物(その他雑貨)	2	8.3%
通勤(業務中の移動を除く)	4	16.7%
通学	0	0.0%
業務(通勤以外)	1	4.2%
通院・通所	12	50.0%
金融機関	4	16.7%
娯楽・趣味	4	16.7%
教室・セミナー・サロン	1	4.2%
家族や友人宅	4	16.7%
その他	1	4.2%
無回答	6	25.0%
合計	53	220.8%

図 公共交通を利用したい目的

(6) 【問 1-6】 1 利用したい目的のために出発したい時間※最近 30 日以内に五城目町内で公共交通を「利用していない」、公共交通を「理由があって利用することができない・していない」と答えた人のみ

- 利用したい目的のために出発したい時間は、行きは「午前」が 54.2%、「午後」が 8.3%となっている。
- 帰りは「午前」が 25.0%、「午後」が 33.3%となっている。
- 詳細な時間としては、行きは「08：00～09：00」が 29.2%、帰りは「11：00～12：00」25.0%が最も高くなっている。

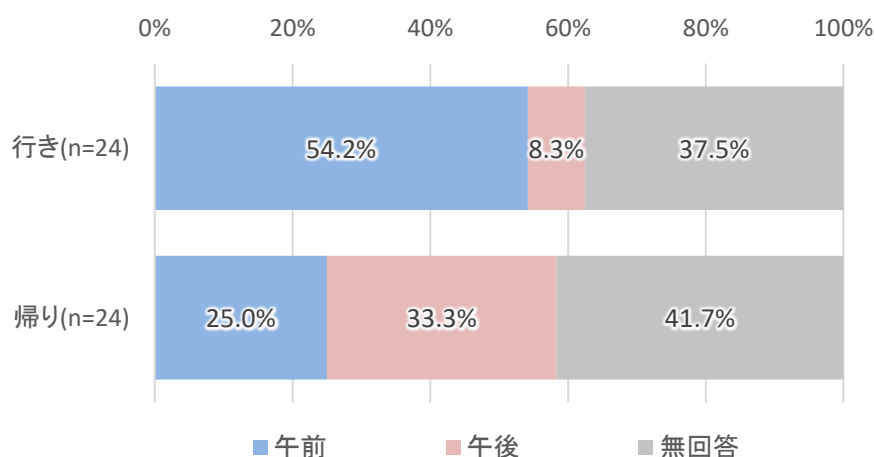


図 利用したい目的のために出発したい時間（行き・帰り）

「行き」の時間	時間	「帰り」の時間
8.3%	07:00～08:00	0.0%
29.2%	08:00～09:00	0.0%
12.5%	09:00～10:00	0.0%
0.0%	10:00～11:00	0.0%
0.0%	11:00～12:00	25.0%
0.0%	12:00～13:00	12.5%
8.3%	13:00～14:00	0.0%
0.0%	14:00～15:00	0.0%
0.0%	15:00～16:00	0.0%
0.0%	16:00～17:00	0.0%
0.0%	17:00～18:00	4.2%
0.0%	18:00～19:00	4.2%
0.0%	19:00～20:00	4.2%
0.0%	20:00～21:00	0.0%
0.0%	21:00～22:00	0.0%
0.0%	22:00～23:00	4.2%
0.0%	23:00以上	0.0%

※n=24

※無回答は非表示

図 利用したい目的のために出発したい詳細な時間（行き・帰り）

(7) 【問 1-6】 2 利用したい目的のための具体的な出発地と到着地（行き）※最近 30 日以内に五城目町内で公共交通を「利用していない」、公共交通を「理由があって利用することができない・していない」と答えた人のみ

- 利用したい目的のための具体的な出発地（行き）では、「自宅」が多くなっている。
- 具体的な到着地（行き）では「湖東厚生病院」「八郎潟駅」が多くなっている。

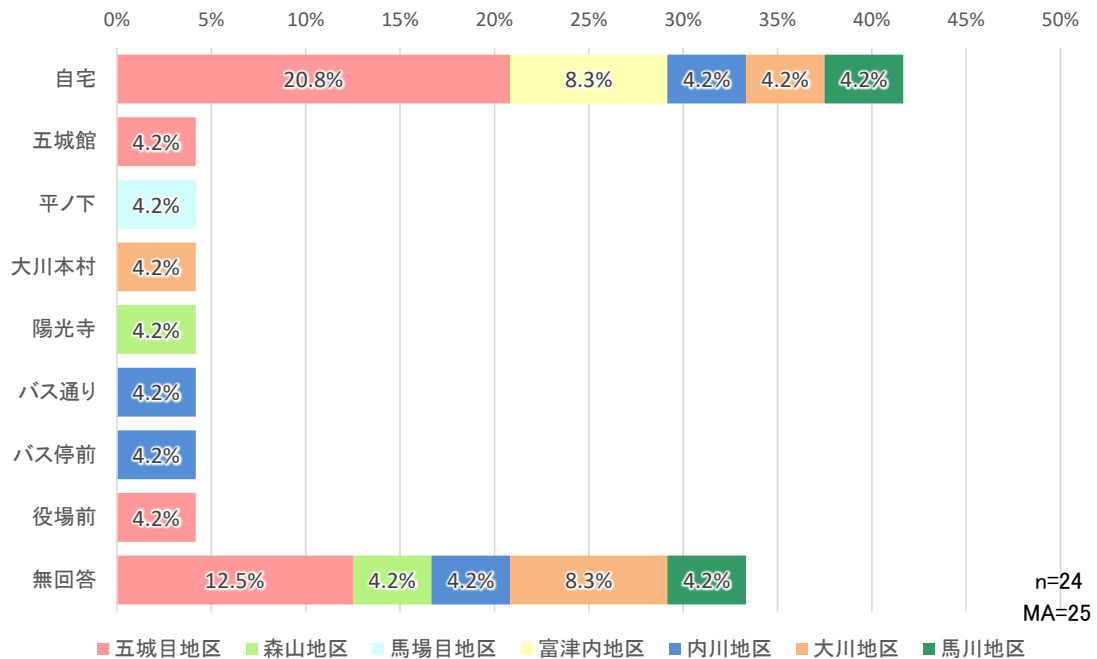


図 利用したい目的のための具体的な出発地（行き）（地区別）

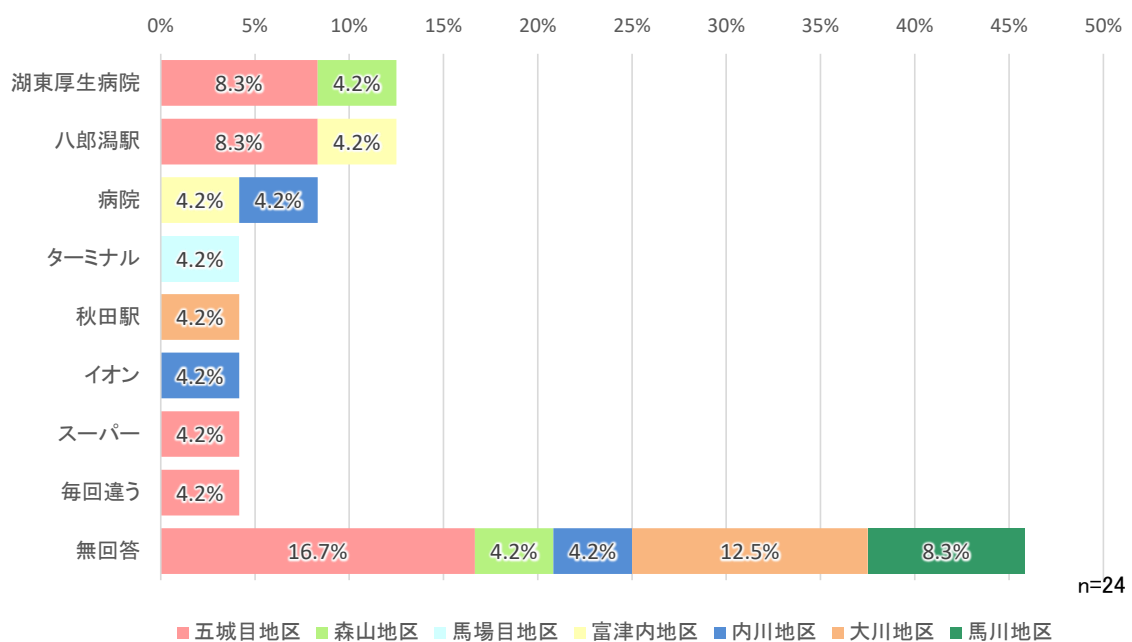


図 利用したい目的のための具体的な到着地（行き）（地区別）

(8) 【問 1-6】 3 利用したい目的のための具体的な出発地と到着地（帰り）※最近 30 日以内に五城目町内で公共交通を「利用していない」、公共交通を「理由があって利用することができない・していない」と答えた人のみ

- 利用したい目的のための具体的な出発地（帰り）では「湖東厚生病院」「八郎潟駅」が多くなっている。
- 具体的な到着地（帰り）では「自宅」が多くなっている。

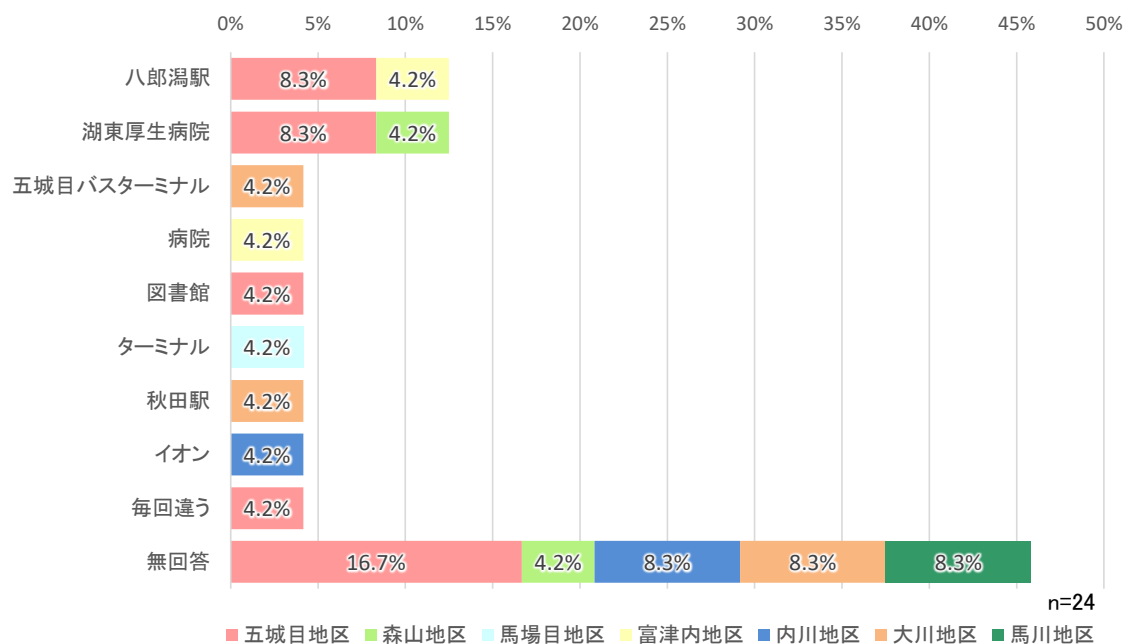


図 利用したい目的のための具体的な出発地（帰り）（地区別）

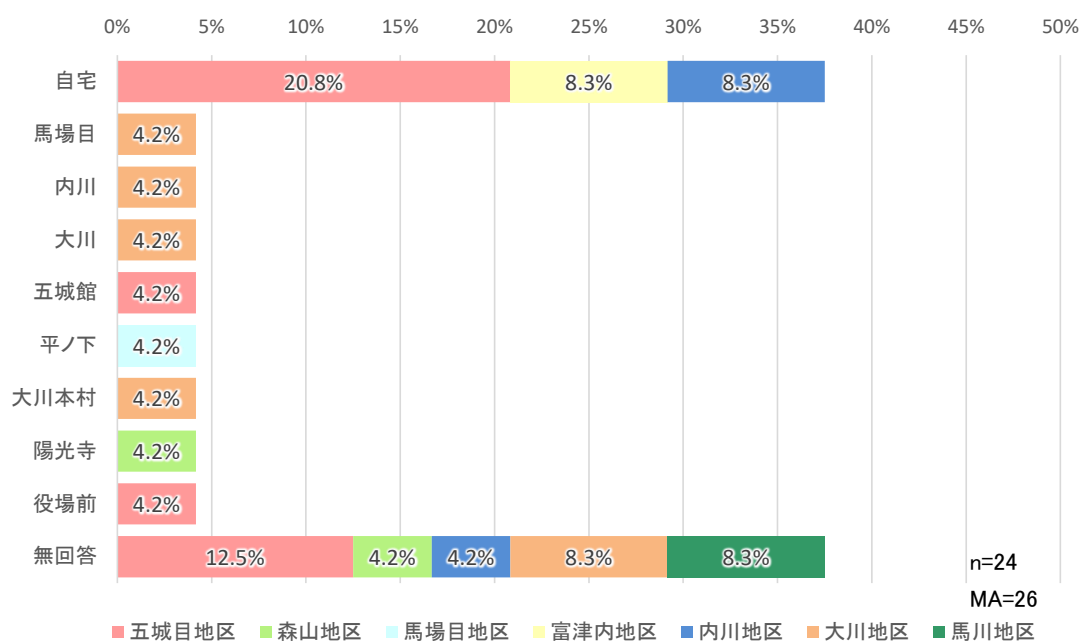


図 利用したい目的のための具体的な到着地（帰り）（地区別）

(9) 【問 1-7】希望する移動手段※最近 30 日以内に五城目町内で公共交通を「利用していない」、公共交通を「理由があって利用することができない・していない」と答えた人のみ

• 希望する移動手段では全体で、「毎日ではなく、外出したいときだけ予約に応じて自宅まで運行する乗合タクシー」が 29.2%と最も高くなっている。

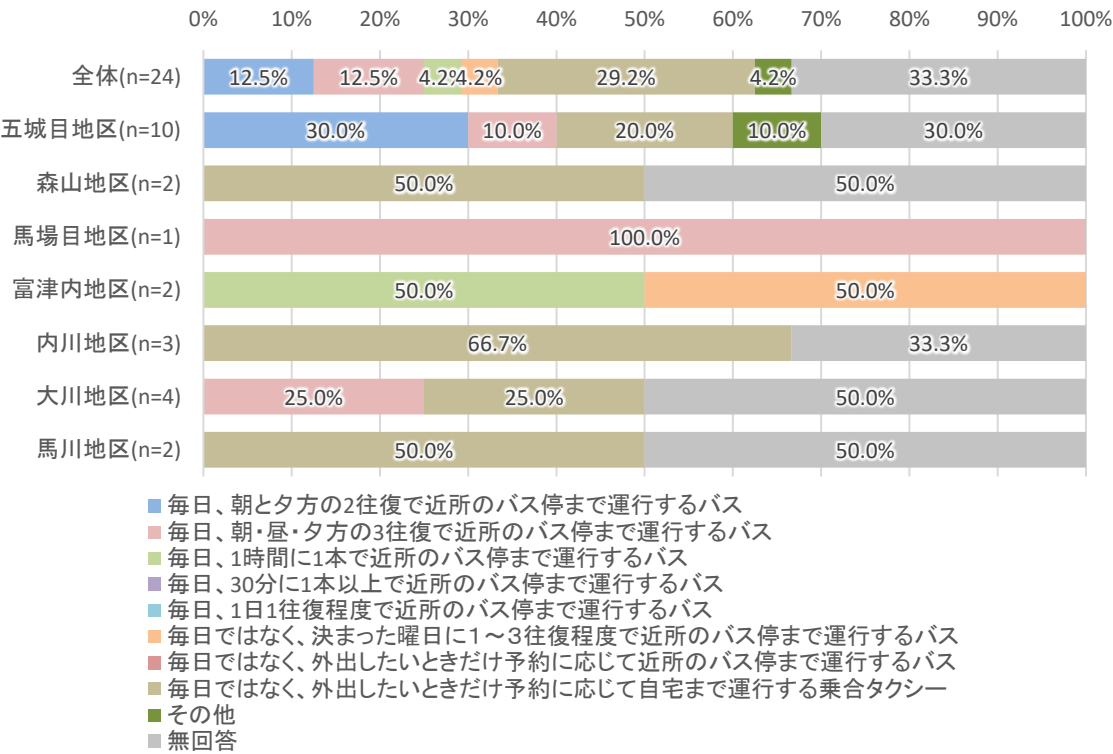


図 希望する移動手段（地区別）

(10) 【問 1-8】要望が満たされた場合の公共交通の利用有無※最近 30 日以内に五城目町内で公共交通を「利用していない」、公共交通を「理由があって利用することができない・していない」と答えた人のみ

• 要望が満たされた場合の公共交通の利用有無では、「利用する」が 58.3%(14 人) と最も高くなっている。

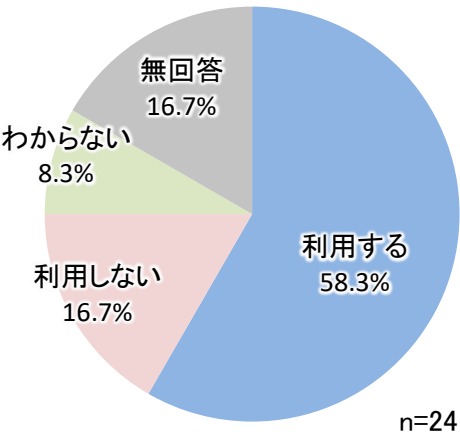


図 要望が満たされた場合の公共交通の利用有無

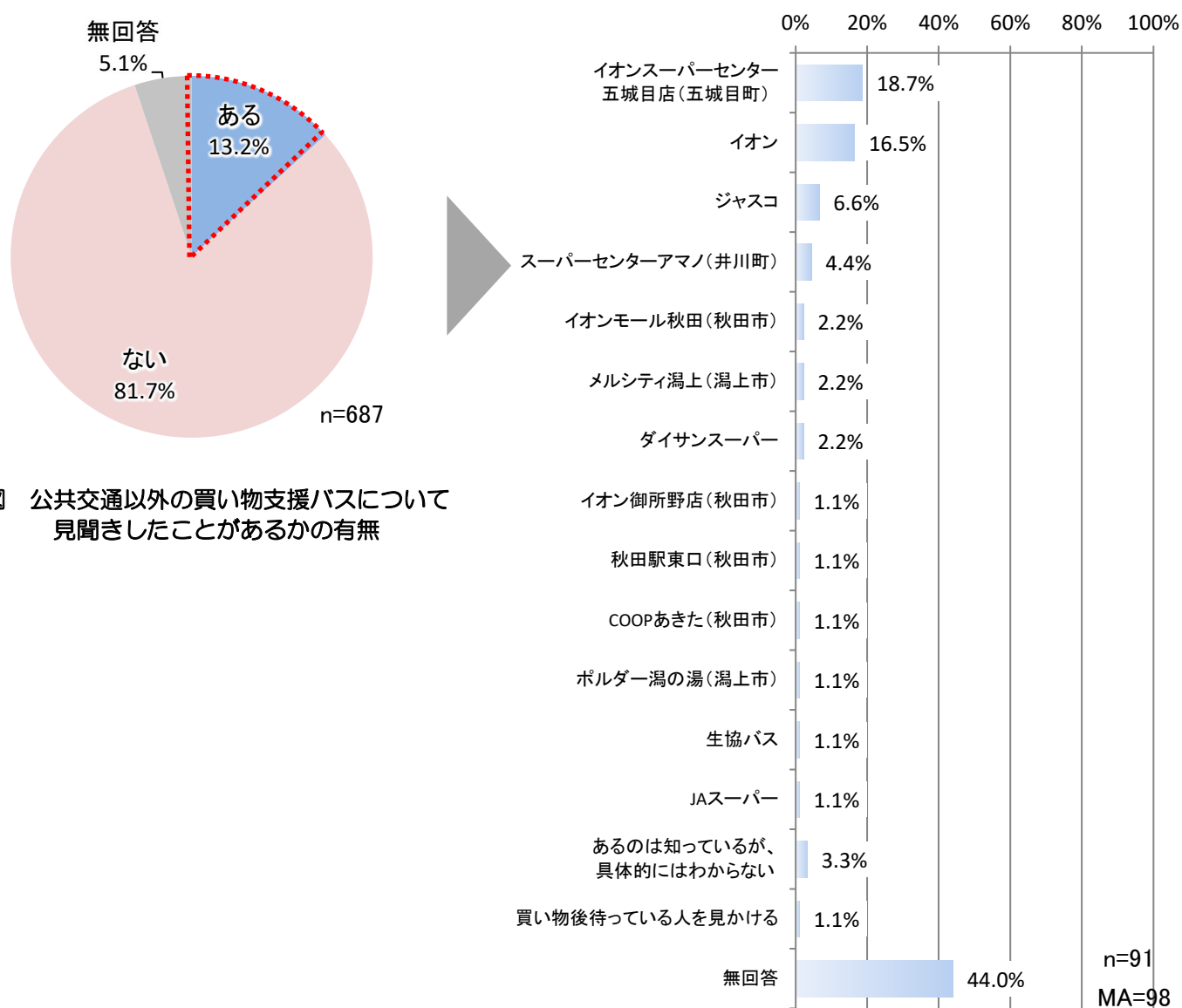
表 要望が満たされた場合の公共交通の利用有無

	回答数	割合
利用する	14	58.3%
利用しない	4	16.7%
わからない	2	8.3%
無回答	4	16.7%
合計	24	100.0%

6-1-2 自家用車・公共交通『以外』の移動手段について

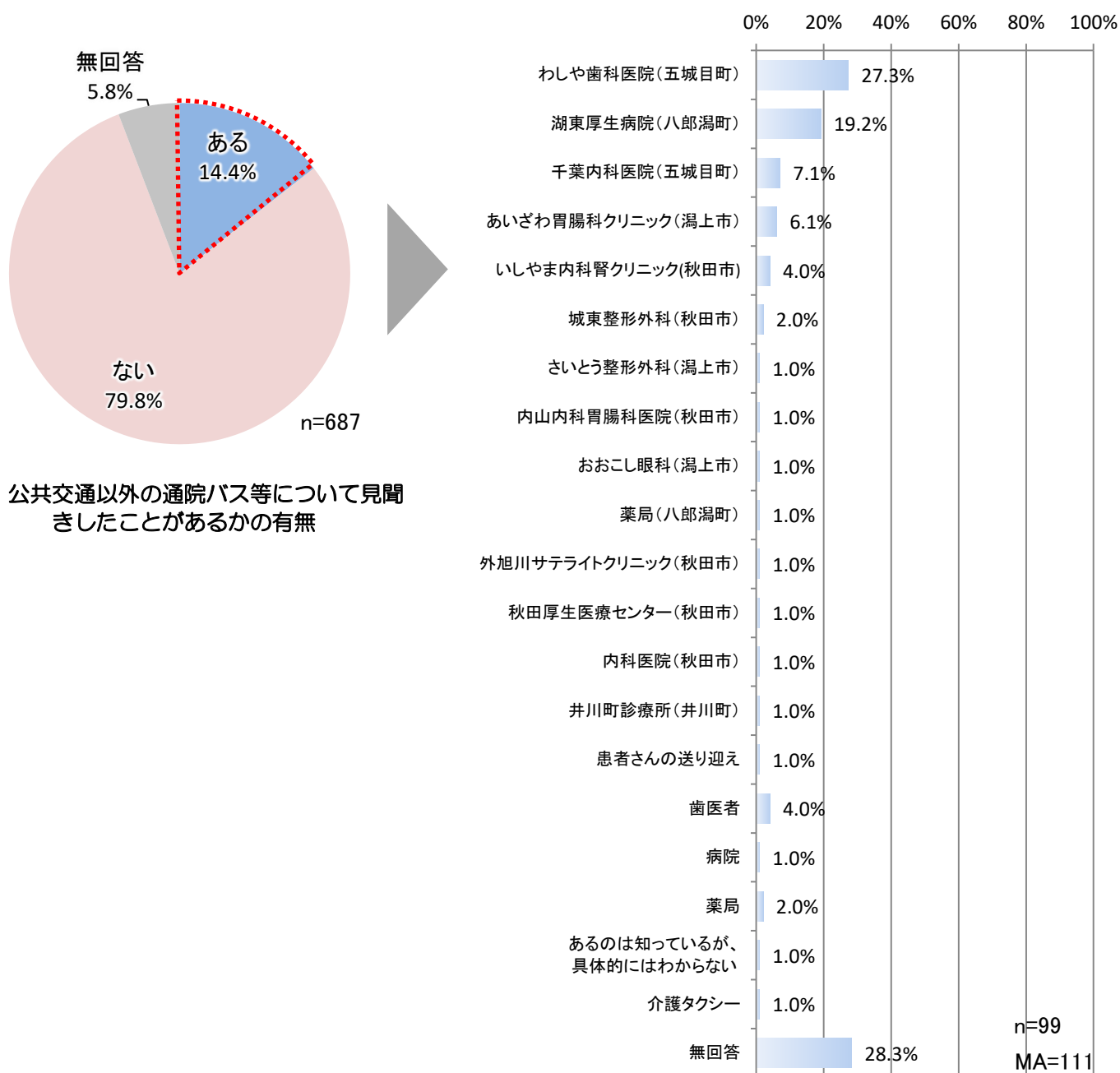
(1) 【問 2-1】公共交通以外の買い物支援バスについて見聞きしたことがあるかの有無

- 公共交通以外の買い物支援バスについて見聞きしたことがあるかの有無では、「ある」が13.2%、「ない」が81.7%となっている。
- 具体的なサービス名では、「イオンスーパーセンター五城目店（五城目町）」が18.7%と最も高く、次いで「イオン」が16.5%と続いている



(2) 【問 2-2】公共交通以外の通院バス等について見聞きしたことがあるかの有無

- 公共交通以外の通院バス等について見聞きしたことがあるかの有無では、「ある」が14.4%、「ない」が79.8%となっている。
- 具体的なサービス名では、「わしや歯科医院（五城目町）」が27.3%と最も高く、次いで「湖東厚生病院（八郎潟町）」が19.2%と続いている。



6-1-3 現在の五城目町の公共交通に関する満足度について

(1) 【問 3-1】 町内を運行する公共交通に関する満足度と重要度の点数

- ・町内を運行する公共交通に関する満足度の点数は、「⑪乗合の車両の大きさや乗降しやすさ」、重要度の点数は「⑬遅延や運休などの運行情報発信」が最も高くなっている。
- ・「①路線バスの運行本数や時間帯」「③路線バスの公共交通間の乗継時間」「⑬遅延や運休などの運行情報発信」「⑭路線図・時刻表の内容」はいずれも重要度が他の項目に比べて高くなっているものの、満足度は低い状況となっている。

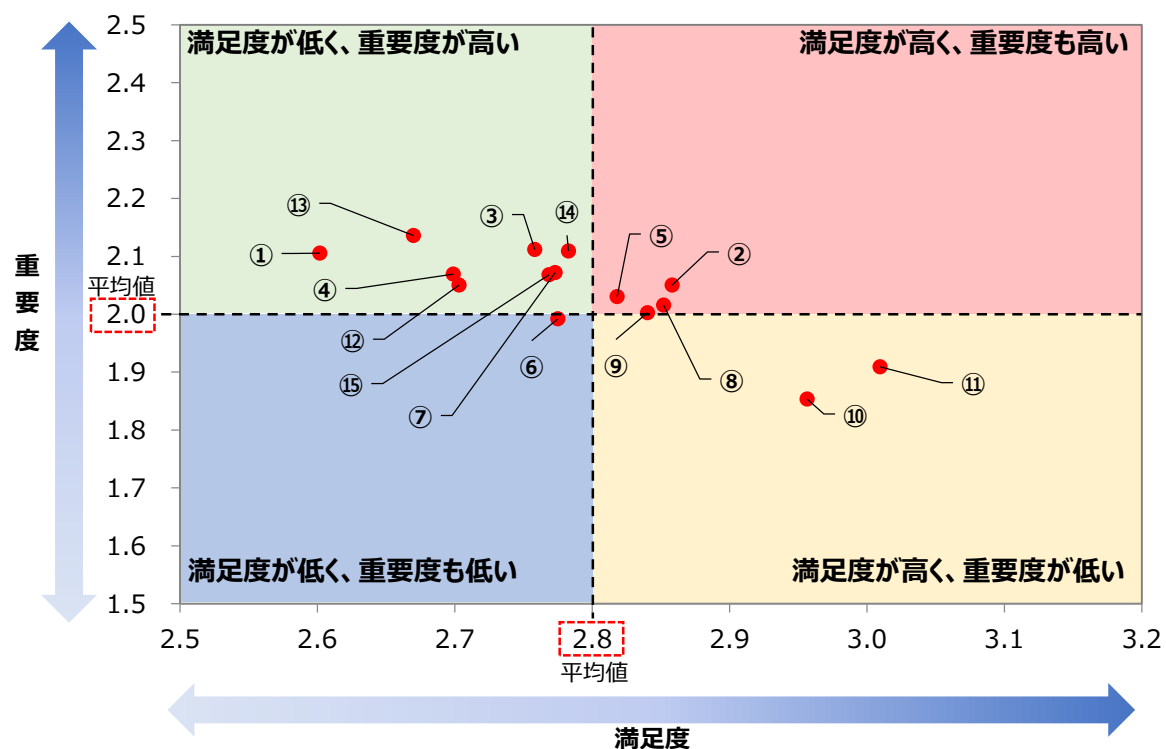


図 町内を運行する公共交通に関する満足度・重要度の点数

表 町内を運行する公共交通に関する満足度・重要度の点数

No	項目	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要である	どちらでもない	重要ではない	満足度 (点数)	重要度 (点数)
①	路線バスの運行本数や時間帯	20	21	246	81	79	118	236	73	2.60	2.11
②	路線バスの利用時の運賃	29	27	280	55	46	95	248	74	2.86	2.05
③	路線バスの公共交通間の乗継時間	22	20	272	64	52	111	235	65	2.76	2.11
④	乗合の運行本数や時間帯	15	16	266	82	46	93	231	66	2.70	2.07
⑤	乗合の利用時の運賃	18	18	292	50	40	84	235	72	2.82	2.03
⑥	乗合の公共交通間の乗継時間	11	15	289	59	35	70	243	73	2.78	1.99
⑦	乗合の乗降可能な個所数や場所	18	29	252	71	44	95	226	67	2.77	2.07
⑧	乗合の乗降する場所から目的地までの距離	16	21	297	42	36	85	217	79	2.85	2.02
⑨	乗合の利用時の予約方法(電話)	19	19	292	43	40	80	229	79	2.84	2.00
⑩	乗合の運賃の支払い方法	18	15	332	27	21	52	222	108	2.96	1.85
⑪	乗合の車両の大きさや乗降しやすさ	23	30	309	34	19	61	229	96	3.01	1.91
⑫	停留所・待合所の環境	15	20	253	91	42	84	248	64	2.70	2.05
⑬	遅延や運休などの運行情報発信	8	16	274	70	50	108	227	55	2.67	2.14
⑭	路線図・時刻表の内容	11	28	274	71	35	96	245	53	2.78	2.11
⑮	利用促進資料の内容	10	26	275	73	35	87	248	60	2.77	2.07

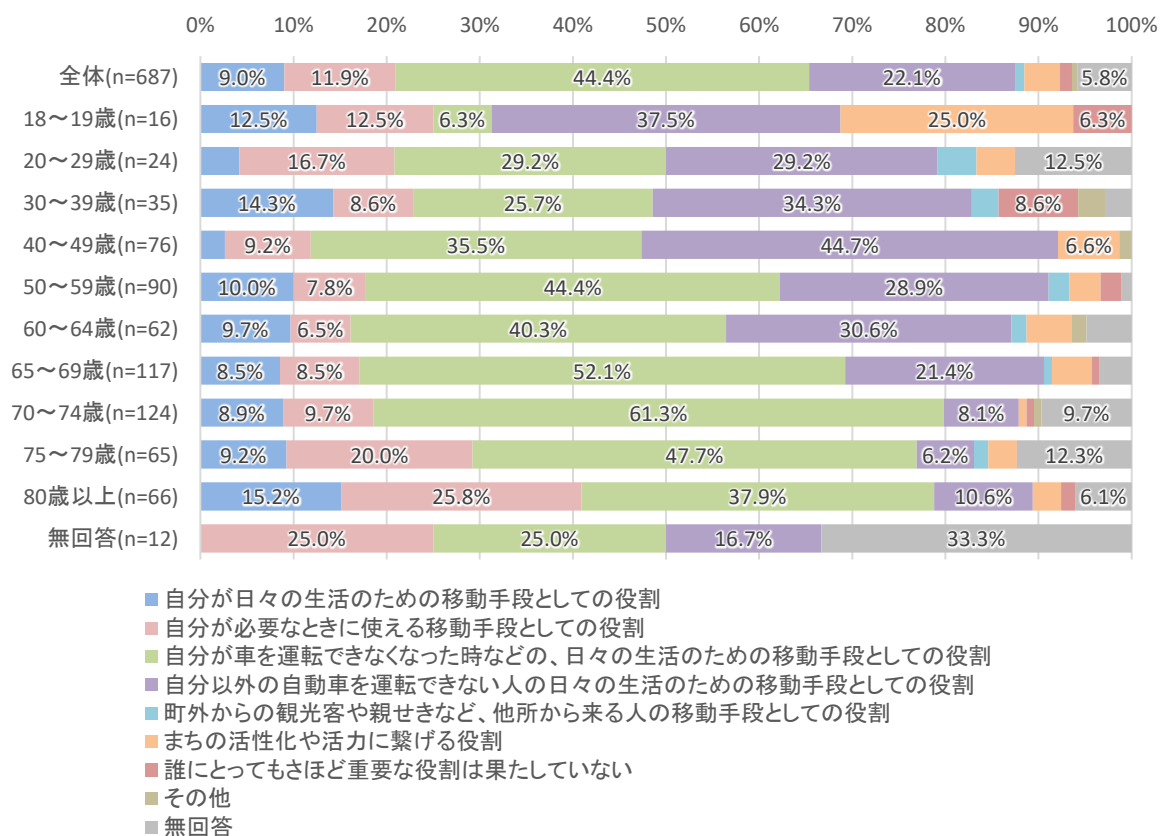
■ 満足度、重要度の点数算出方法

(満足度各件数×点数(満足=5点、まあ満足=4点、ふつう=3点、やや不満=2点、不満=1点))÷各項目回答者数(無回答は除外)
(重要度各件数×点数(重要である=3点、どちらでもない=2点、重要ではない=1点))÷各項目回答者数(無回答は除外)

6-1-4 五城目町の公共交通のあり方について

(1) 【問 4-1】 公共交通に期待する役割

- 公共交通に期待する役割では全体で、「自分が車を運転できなくなった時などの、日々の生活のための移動手段としての役割」が 44.4%と最も高く、次いで「自分以外の自動車を運転できない人の日々の生活のための移動手段としての役割」が 22.1%と続いている。
- 年齢別でみると「自分が必要なときに使える移動手段としての役割」への回答が 75 歳以上の年代で約 2 割程度と他の年代よりも高くなっており、18～19 歳、20～29 歳の年代においても 1 割以上と比較的高くなっている。

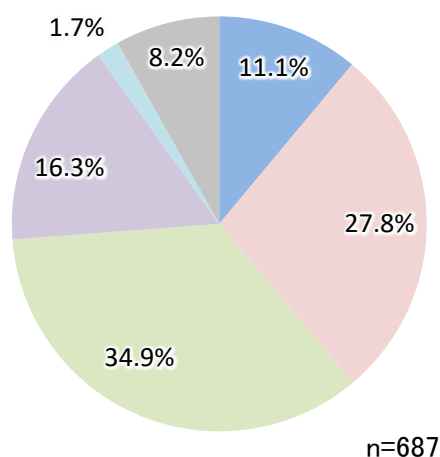


※5.0%以下は非表示

図 公共交通に期待する役割（年齢別）

(2) 【問 4-2】今後の公共交通のあり方に対する考え方

- 今後の公共交通のあり方に対する考え方では、「町の負担は維持しながらも、地域や企業等の財政支援や連携をしてサービスレベルの向上を図ったほうが良い」が 34.9%(240 人)と最も高く、次いで「町の負担は維持しながら、できる範囲でのサービスレベルを提供するほうが良い」が 27.8%(191 人)と続いている。



- 公共交通に対する町の負担を増やしてでもサービスレベルの向上を図ったほうが良い
- 町の負担は維持しながら、できる範囲でのサービスレベルを提供するほうが良い
- 町の負担は維持しながらも、地域や企業等の財政支援や連携をしてサービスレベルの向上を図ったほうが良い
- 町の負担を減らしていき必要最低限のサービスレベルを維持する方が良い
- その他
- 無回答

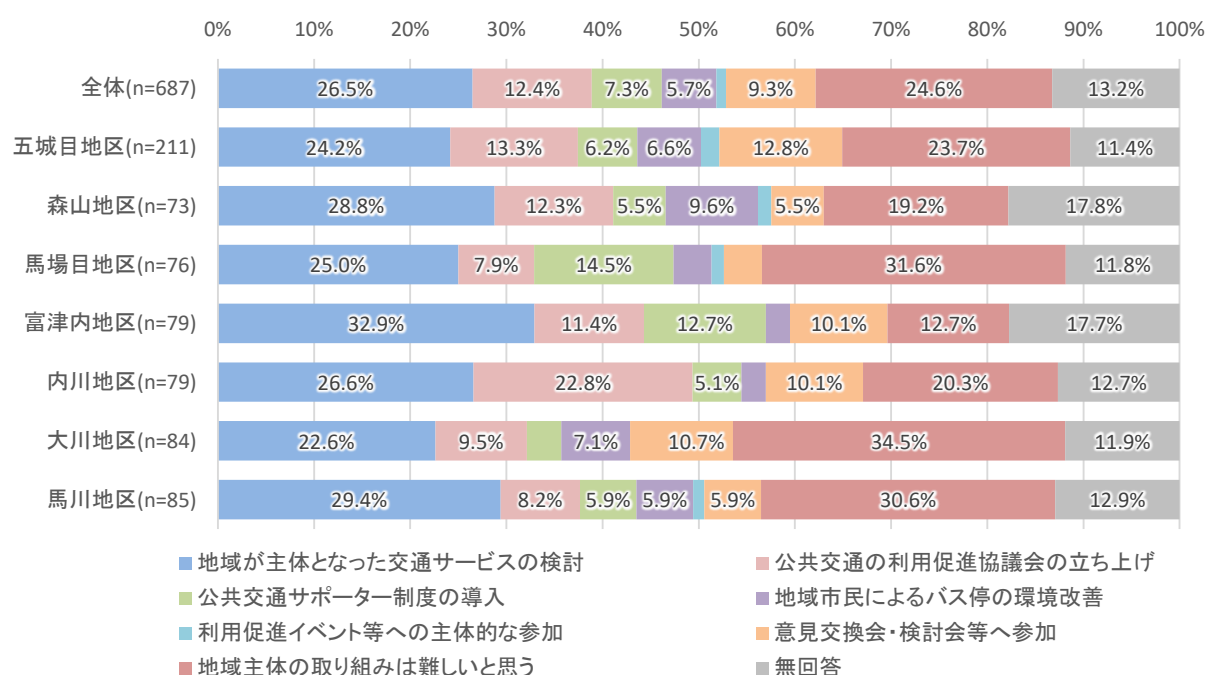
図 今後の公共交通のあり方に対する考え方

表 今後の公共交通のあり方に対する考え方

	回答数	割合
公共交通に対する町の負担を増やしてでもサービスレベルの向上を図ったほうが良い	76	11.1%
町の負担は維持しながら、できる範囲でのサービスレベルを提供するほうが良い	191	27.8%
町の負担は維持しながらも、地域や企業等の財政支援や連携をしてサービスレベルの向上を図ったほうが良い	240	34.9%
町の負担を減らしていき必要最低限のサービスレベルを維持する方が良い	112	16.3%
その他	12	1.7%
無回答	56	8.2%
合計	687	100.0%

(3) 【問 4-3】「公共交通の維持」のために居住地域で可能と思う取組

- 「公共交通の維持」のために居住地域で可能と思う取組では全体で、「地域が主体となった交通サービスの検討」が26.5%と最も高く、次いで「地域主体の取り組みは難しいと思う」が24.6%と続いている。
- 地区別で見ると全ての地区において「地域が主体となった交通サービスの検討」への回答が約2～3割程度となっている。
- 内川地区では「公共交通の利用促進協議会の立ち上げ」が他の地区に比べて高くなっている。
- 馬場目地区と富津内地区では「公共交通サポーター制度の導入」の割合が1割以上と他の地区に比べて高くなっている。



※5.0%以下は非表示

図 「公共交通の維持」のために居住地域で可能と思う取組 (地区別)

6-1-5 回答者の個人属性について

(1) 【属性 1】性別

- 回答者の性別では、「男性」が 44.4%(305 人)、「女性」が 54.7%(376 人) となっている。

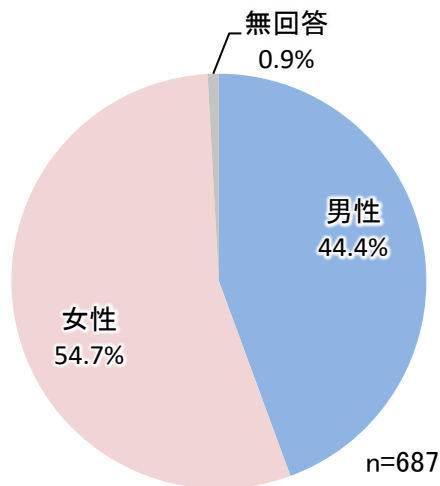


図 性別

表 性別

	回答数	割合
男性	305	44.4%
女性	376	54.7%
無回答	6	0.9%
合計	687	100.0%

(2) 【属性 2】年齢

- 回答者の年齢では、「70～74 歳」が 18.0%(124 人) と最も高く、次いで「65～69 歳」が 17.0%(117 人) と続いている。

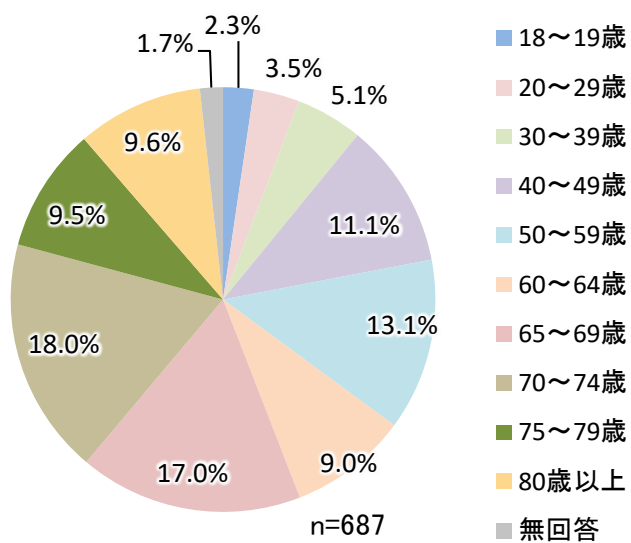


図 年齢

表 年齢

	回答数	割合
18～19歳	16	2.3%
20～29歳	24	3.5%
30～39歳	35	5.1%
40～49歳	76	11.1%
50～59歳	90	13.1%
60～64歳	62	9.0%
65～69歳	117	17.0%
70～74歳	124	18.0%
75～79歳	65	9.5%
80歳以上	66	9.6%
無回答	12	1.7%
合計	687	100.0%

(3) 【属性 3】 職業

- ・ 回答者の職業では、「無職」が 27.1%(186 人) と最も高く、次いで「会社員」が 23.0%(158 人)と続いている。

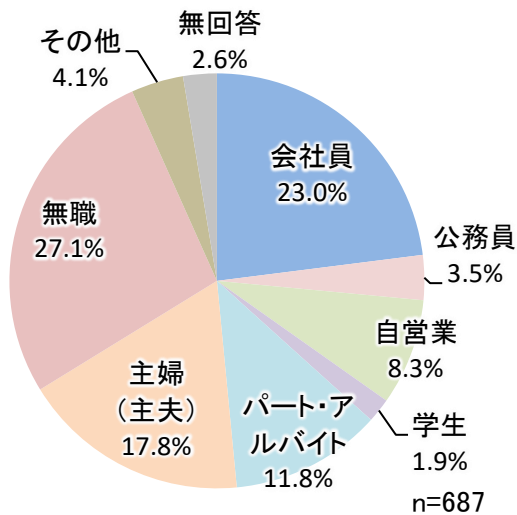


図 職業

表 職業

	回答数	割合
会社員	158	23.0%
公務員	24	3.5%
自営業	57	8.3%
学生	13	1.9%
パート・アルバイト	81	11.8%
主婦(主夫)	122	17.8%
無職	186	27.1%
その他	28	4.1%
無回答	18	2.6%
合計	687	100.0%

(4) 【属性 4】 居住地

- ・ 回答者の居住地では、「五城目地区」が 31.6%(217 人) と最も高く、次いで「大川地区」が 12.2%(84 人)と続いている。

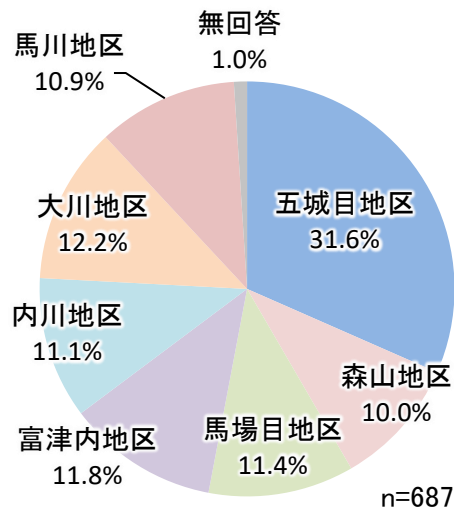


図 居住地

表 居住地

	回答数	割合
五城目地区	217	31.6%
森山地区	69	10.0%
馬場目地区	78	11.4%
富津内地区	81	11.8%
内川地区	76	11.1%
大川地区	84	12.2%
馬川地区	75	10.9%
無回答	7	1.0%
合計	687	100.0%

(5) 【属性 5】 自家用車の有無

- 回答者の自家用車の有無では、「自家用車を所有していて、主に自分が使用している」が 74.2%(510 人) と最も高く、次いで「自家用車を所有しているが、主に自分以外の家族等が利用している」が 14.7%(101 人)と続いている。

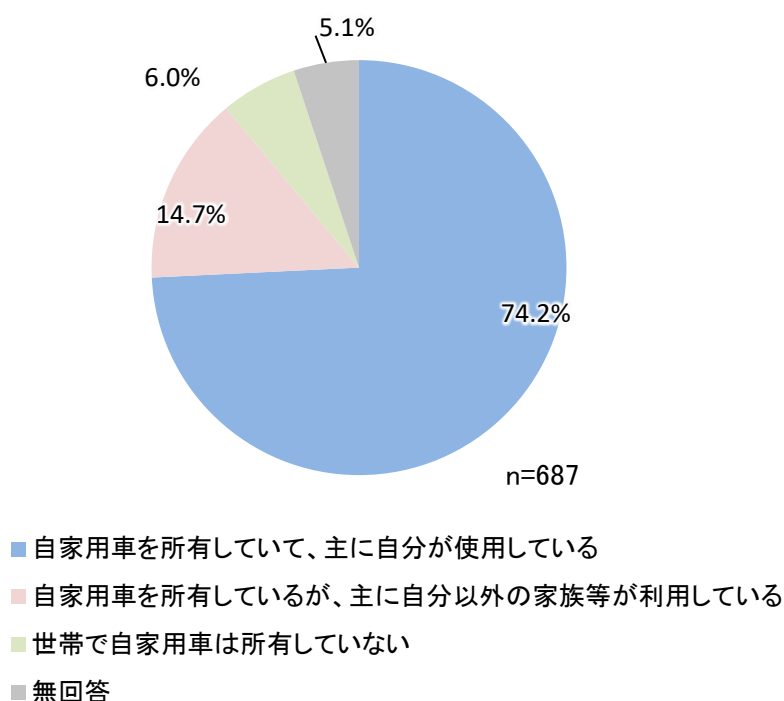


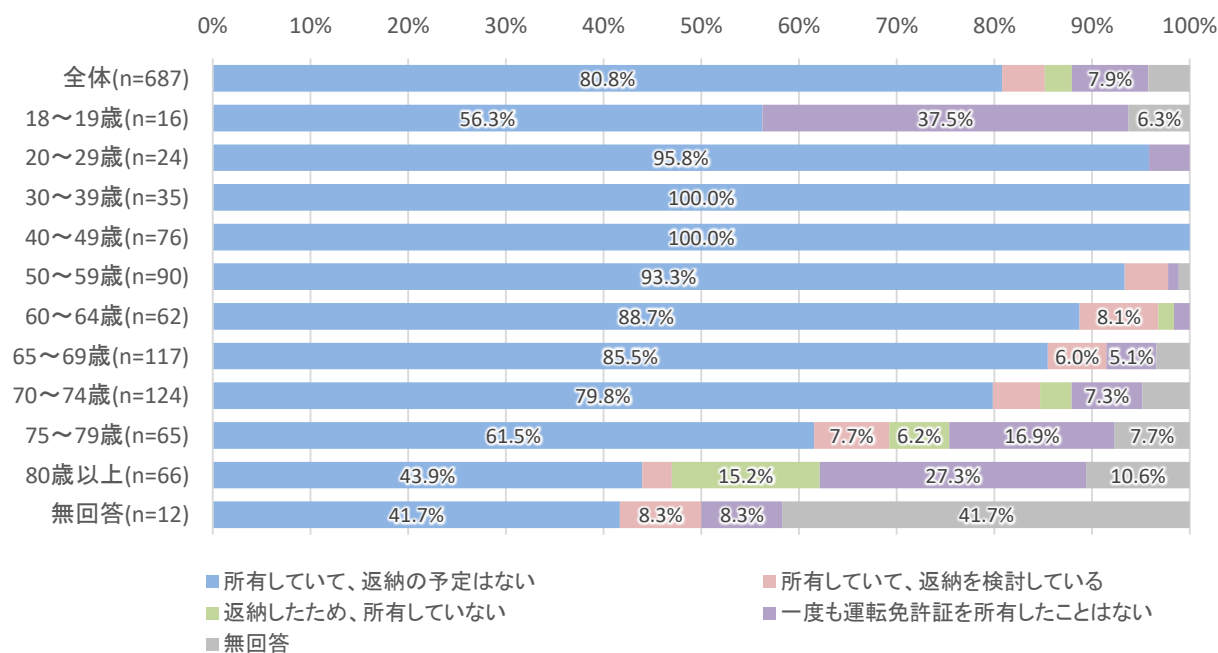
図 自家用車の有無

表 自家用車の有無

	回答数	割合
自家用車を所有していて、主に自分が使用している	510	74.2%
自家用車を所有しているが、主に自分以外の家族等が利用している	101	14.7%
世帯で自家用車は所有していない	41	6.0%
無回答	35	5.1%
合計	687	100.0%

(6) 【属性 6】 1 運転免許証の有無

- 回答者の運転免許証の有無では全体で、「所有していて、返納の予定はない」が80.8%と最も高く、次いで「一度も運転免許証を所有したことはない」が7.9%と続いている。
- 運転免許証の返納検討時期では、「10～20年」が26.7%(8人)と最も高く、次いで「1～3年」が16.7%(5人)と続いている。



※5.0%以下は非表示

図 運転免許証の有無

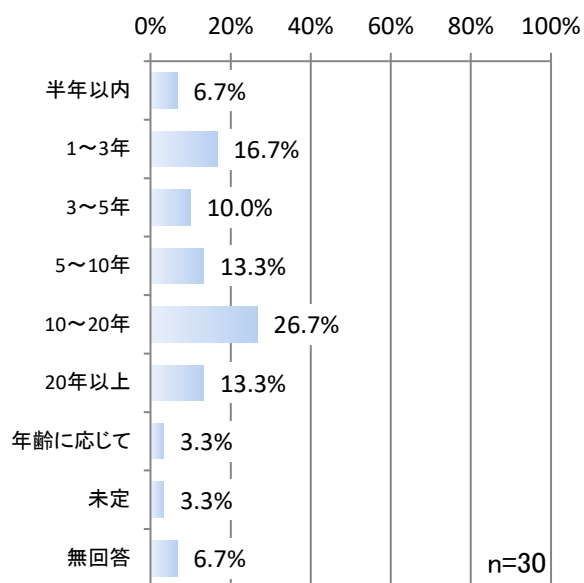


図 運転免許証の返納検討時期

表 運転免許証の返納検討時期

	回答数	割合
半年以内	2	6.7%
1～3年	5	16.7%
3～5年	3	10.0%
5～10年	4	13.3%
10～20年	8	26.7%
20年以上	4	13.3%
年齢に応じて	1	3.3%
未定	1	3.3%
無回答	2	6.7%
合計	30	100.0%

(7) 【属性 6】 2 運転免許証を返納しない理由※運転免許証を「所有していて、返納の予定はない」と答えた人のみ

- 回答者の運転免許証を返納しない理由では、「買い物や通院などで車が必要だから」が72.6%(403人)と最も高く、次いで「通勤など仕事で車が必要だから」が55.0%(305人)と続いている。

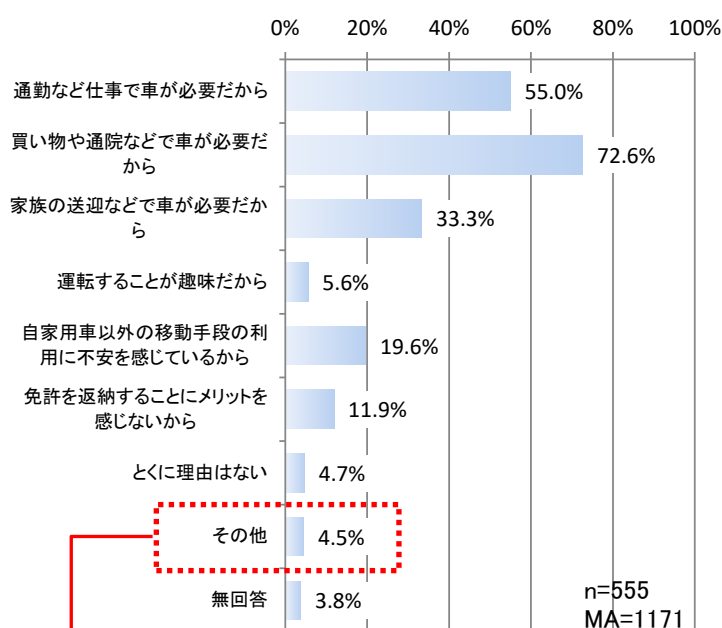


表 運転免許証を返納しない理由

	回答数	割合
通勤など仕事で車が必要だから	305	55.0%
買い物や通院などで車が必要だから	403	72.6%
家族の送迎などで車が必要だから	185	33.3%
運転することが趣味だから	31	5.6%
自家用車以外の移動手段の利用に不安を感じているから	109	19.6%
免許を返納することにメリットを感じないから	66	11.9%
とくに理由はない	26	4.7%
その他	25	4.5%
無回答	21	3.8%
合計	1171	211.0%

図 運転免許証を返納しない理由

表 「その他」の返納しない理由

No	返納しない理由	回答数
1	まだ返納する年齢ではないから	11
2	農業(畑仕事)等に利用しているから	4
3	車がないと生活が出来ないから	2
4	主に家長が仕事で使用して合間にかりて使用している	1
5	買い物	1
6	返納する理由がないから。	1
7	いずれは返納する予定	1
8	返納はしてないが車は運転していない	1
9	時間が制限されるから	1
10	地域によって条件が違うから検討は無理。案としてタクシーを利用した場合に老人が何%行政が何%負担、タクシーにも何%負担で話し合えないか。検討の結果を見て1年間の赤字状況を見てからで良いと思う。	1

(8) 【属性 7】インターネット回線契約の有無

- 回答者のインターネット回線契約の有無では、「インターネット回線を契約している」が 54.1%(372 人)、「インターネット回線を契約していない」が 39.0%(268 人)となっている。

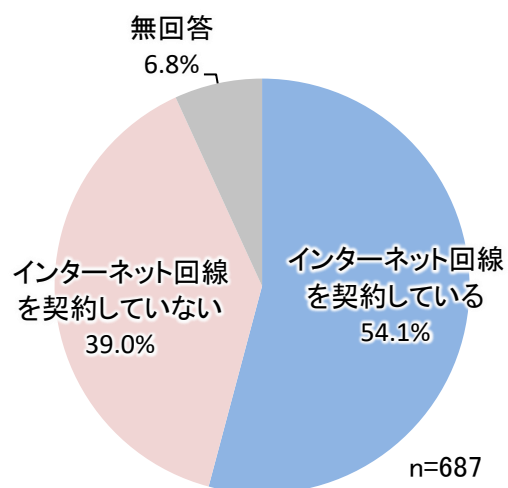


表 インターネット回線契約の有無

	回答数	割合
インターネット回線を契約している	372	54.1%
インターネット回線を契約していない	268	39.0%
無回答	47	6.8%
合計	687	100.0%

図 インターネット回線契約の有無

(9) 【属性 8】スマートフォン保有状況

- 回答者のスマートフォン保有状況では、「スマートフォンを保有している」が 65.1%(447 人)、「スマートフォンを保有していない」が 30.9%(212 人)となっている。

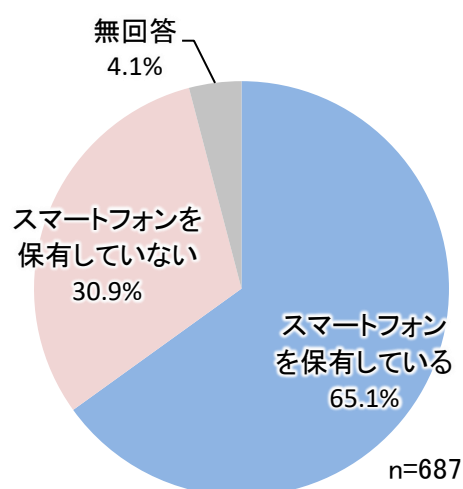


表 スマートフォン保有状況

	回答数	割合
スマートフォンを保有している	447	65.1%
スマートフォンを保有していない	212	30.9%
無回答	28	4.1%
合計	687	100.0%

図 スマートフォン保有状況

(10) 【属性9】電子マネー等の利用状況（普段・今後の支払い方法）

- 回答者の電子マネー等の利用状況（普段の支払い方法）では、「現金」が88.1%(605人)と最も高く、次いで「クレジットカード（登録口座から月ごとにまとめて引き落としされるもの）」が34.4%(236人)と続いている。
- 電子マネー等の利用状況（今後の支払い方法）では、「現金以外使う予定はない」が44.7%(307人)と最も高く、次いで「現状のキャッシュレス支払い以外を使う予定はない」が17.5%(120人)と続いている

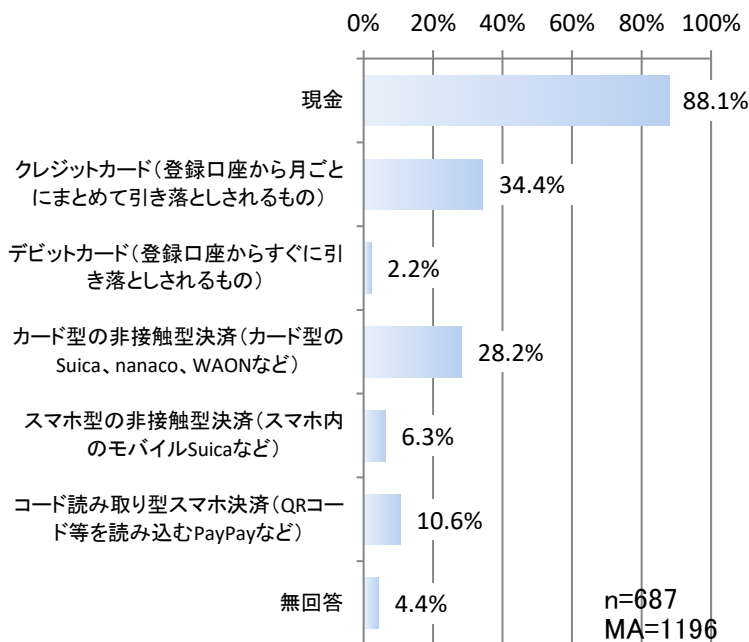


図 電子マネー等の利用状況（普段の支払い方法）

表 電子マネー等の利用状況（普段の支払い方法）

	回答数	割合
現金	605	88.1%
クレジットカード (登録口座から月ごとにまとめて引き 落としされるもの)	236	34.4%
デビットカード (登録口座からすぐに引き落としされ るもの)	15	2.2%
カード型の非接触型決済 (カード型のSuica、nanaco、WAONな ど)	194	28.2%
スマホ型の非接触型決済 (スマホ内のモバイルSuicaなど)	43	6.3%
コード読み取り型スマホ決済 (QRコード等を読み込むPayPayなど)	73	10.6%
無回答	30	4.4%
合計	1196	174.1%

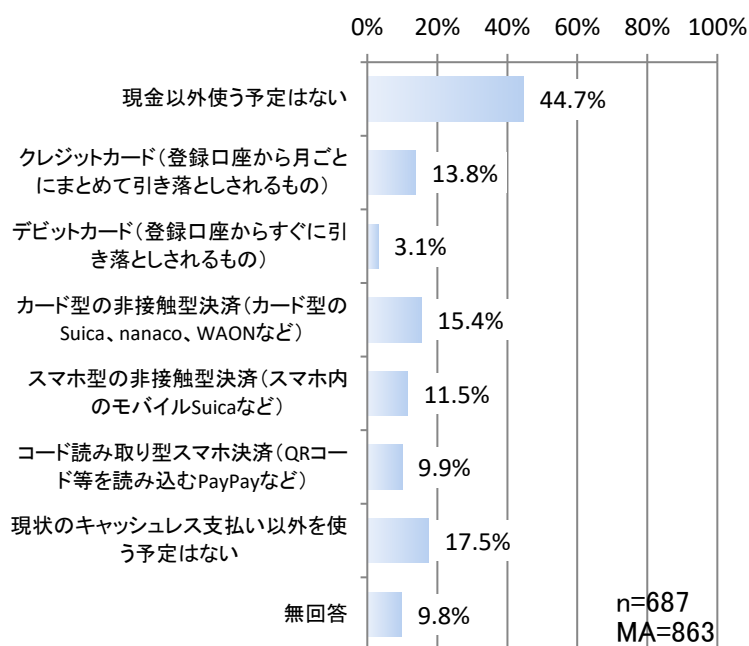


図 電子マネー等の利用状況（今後の支払い方法）

表 電子マネー等の利用状況（今後の支払い方法）

	回答数	割合
現金以外使う予定はない	307	44.7%
クレジットカード (登録口座から月ごとにまとめて引き 落としされるもの)	95	13.8%
デビットカード (登録口座からすぐに引き落としされ るもの)	21	3.1%
カード型の非接触型決済 (カード型のSuica、nanaco、WAONな ど)	106	15.4%
スマホ型の非接触型決済 (スマホ内のモバイルSuicaなど)	79	11.5%
コード読み取り型スマホ決済 (QRコード等を読み込むPayPayなど)	68	9.9%
現状のキャッシュレス支払い以外を 使う予定はない	120	17.5%
無回答	67	9.8%
合計	863	125.6%

(11) 【属性 11】公共交通に関する情報の入手方法

- 回答者の公共交通に関する情報の入手方法では、「町発行の広報・チラシなど」が 56.2%(386 人) と最も高く、次いで「家族、友人、知人から教えてもらう」が 19.1%(131 人)と続いている。

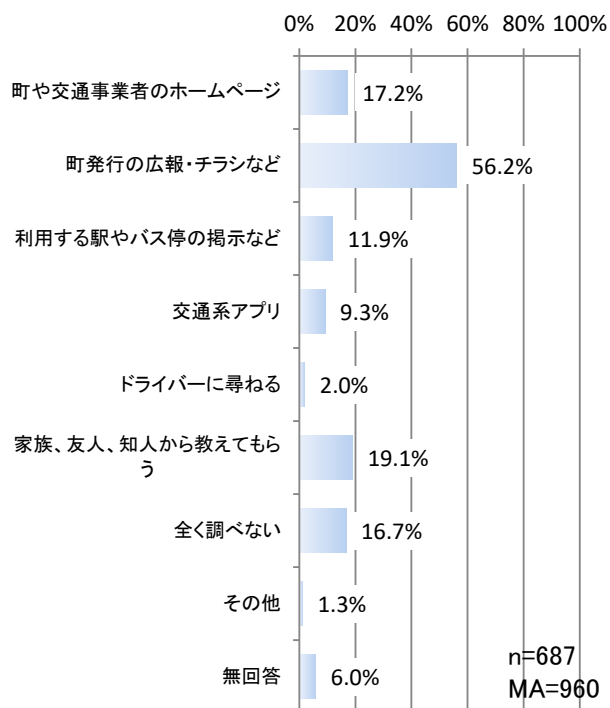


表 公共交通に関する情報の入手方法

	回答数	割合
町や交通事業者のホームページ	118	17.2%
町発行の広報・チラシなど	386	56.2%
利用する駅やバス停の掲示など	82	11.9%
交通系アプリ	64	9.3%
ドライバーに尋ねる	14	2.0%
家族、友人、知人から教えてもらう	131	19.1%
全く調べない	115	16.7%
その他	9	1.3%
無回答	41	6.0%
合計	960	139.7%

図 公共交通に関する情報の入手方法

(12) 【属性 12】自由意見

・自由意見は以下の通り。

表 自由意見 (1/4)

項目	自由意見	年齢	居住地	職業
運行	マイタウンバス利用時間ふやしてほしいです	80歳以上	五城目地区	無職
	本数をもっとふやしてくれば利用するのが多くなると思います。本数が少なすぎて不便で自家用車を利用しています。	30～39歳	馬場目地区	パート・アルバイト
	バスの本数を増やしてほしい。乗合タクシーは赤字でも継続していただきたい	40～49歳	五城目地区	無職
	平日は毎日、マイタウンバスを利用させていただいてます。夕方、19.00ころも運行していただけると非常に助かります。	50～59歳	五城目地区	パート・アルバイト
	バスの区間が短いと思います。八郎潟駅から五城目の自宅までバスで帰ろうとしてもBTまでしか乗れないので、結局利用しない人もいます。	18～19歳	馬川地区	公務員
	JRとの待ち時間が長い。	70～74歳	五城目地区	主婦(主夫)
	乗合タクシーの時間を増やしてあげて欲しい。また、病院診察が終わってから薬局に薬をもらいに行っている間にタクシーが出てしまう時があるみたいなので、乗合タクシーの時間も改めて考え直して欲しい。	18～19歳	馬場目地区	会社員
	私は日常的にマイタウンバスを利用しています。財政的に厳しいとは思いますが、何とか地域の足として現在の運行本数・運賃を維持していただければと思います。	30～39歳	五城目地区	会社員
	バス停まで遠すぎて利用したくない。どこからでも乗れる様にしたいと思う。	75～79歳	大川地区	主婦(主夫)
	予約なしで定時発着の路線バス同様に1日朝、夕2本程ほしい。	—	馬場目地区	無職
	予約しなくともいったりきったり出来ように	80歳以上	馬場目地区	無職
	マイタウンバスについて利用者が少ないのが残念ですが利用して気づいた事①バスターミナルからの利用について、ここまで利用者(学生等を送ってくれる親等の送迎できる場所があればいい)②上りの時刻の見なおしを考えてほしいです。時刻より早すぎる(2'3分)が多い。	60～64歳	五城目地区	無職
	病院に行きたいが前日の夜などに連れて行ってくれる(乗せてくれる)家族がいなくて、町の介護タクシー?デマンド型乗合タクシーの予約がとれないと言っていた。日にちが決まってる?時間が決まってる?急な用事に対して不満。本当に使いたい人のために融通きくようにしてほしい。無駄に走ってるから赤字なんじゃないですか?公共交通の話は個人の問題なんだから町内会で話すとか時間の無駄一人暮らしとかお年寄りのいる家まわって意見聞いたほうがいい!!これからは年寄りが増える。家族内の若い人は仕事に行かないといけない。若い人の介護の負担をもっともつとかがえていくべき状況だと思う。	30～39歳	大川地区	パート・アルバイト
	毎度、乗合タクシーを利用してあります。高齢の私はありがたく無くなりたくない様願っております。	80歳以上	富津内地区	—
	湖東厚生病院の全往診可能になるまでの間、秋田厚生病院への直通交通手段を確保していただきたい	65～69歳	五城目地区	無職
	買い物に行くためののり合いタクシーおねがしいたい	75～79歳	馬川地区	無職
	赤字なら減らしてもいいと思う。	20～29歳	森山地区	会社員
運行 (利用環境)	周回バスなど、試行錯誤されているとは思いますが、月間・年間利用人数に合わせたサイズの車体で運行して維持費用を下げる等さらに検討した方が良いと思います。特にバスは利用人数に対して車両が大きすぎると見かける度感じます。	40～49歳	五城目地区	主婦(主夫)
	バス路線が変更されてしまい、利用することができない。	80歳以上	大川地区	主婦(主夫)
	バス復活(路線)	30～39歳	大川地区	その他
	マイタウンバスを大川まで来てくれるようにしてもらえないでしょうか?大川回りしてほしい。	75～79歳	大川地区	主婦(主夫)
	自分の地区にバスがそもそも来ない	40～49歳	大川地区	会社員
	デマンド型乗合タクシーは一部地域のみで山間部にはメリットがない様に思います。	65～69歳	内川地区	自営業
	利用者がいなくなったとはいえ、一日市・大川・井川(7号線)経由の路線バスがなくなってしまった事に残念な思いです。ほとんど利用しない立場ではありますが、いざ車が使えなかった時助かっていたので。今後はタクシーを利用する事になるのでしょうか。	50～59歳	大川地区	会社員
	自宅が旧町内につき乗合タクシー路線バスが通っていない。今後町内の移動手段も検討してほしい。	65～69歳	五城目地区	会社員
	今の所、大川本村地区がバスの利用が1番不便です。今後5～10年後の事を考えるととても不安です。	70～74歳	大川地区	主婦(主夫)
	友人が(免許の無い人)野田高校前のバス停が前と替わり不便になったし、冬に高校生は大変だと話していた	70～74歳	五城目地区	主婦(主夫)
	西野でも、四ッ屋という部落は昔から交通の便が悪くスクールバス以外はバスは通っておりません。ですからこのアンケートもしっかりお答え出来る事はありません。	75～79歳	大川地区	無職
	敬老式典に行きたいが行く手段がないと聞いた。バスがあるが、そのバスまで行けないと。乗せて行ったが、次年は、断われた。残念でした。	50～59歳	五城目地区	主婦(主夫)
	ジャスコや病院に行くために岩城町や岩野野の通りに車を通らせてほしいです。朝市にも行きたいと思ってタクシーで行くのでちょっとがまんです。	80歳以上	馬川地区	その他
	路線バスや乗合タクシーがない地区の高齢者は、自転車か、一般タクシーでしか、病院や買い物に行けないでいる。	50～59歳	馬川地区	会社員

表 自由意見 (2/4)

項目	自由意見	年齢	居住地	職業
将来の運行	今は、健康で車も運転できるけれどできなくなった時は、タクシーを利用する事とされます。	65～69歳	森山地区	主婦(主夫)
	情報を収集して利用できる所は使用していく努力が必要だと感じた。将来に不安を感じる(高齢になった時)	50～59歳	森山地区	会社員
	今現在、どこに行くにも車なので、あまり考えた事がないが、年とともに、免許の返納、歩行が困難になった場合の事を考えると要望も出てくると思うし、不安を感じます。	70～74歳	五城目地区	無職
	いずれは免許返納なれば御世話になると思う。	70～74歳	馬川地区	無職
	まだ自分たちが自家用車で老人たちの送迎や、移動に援助できるので不便は感じないが、今後のことを考えると大きな不安があります。生活していくうえで食事の買い物・通院・カルチャーと周ってくれるバス等が活躍するのだらうと考えます。老人にやさしい町に。	60～64歳	馬川地区	その他
	今はまだ車の運転できるので良いのですが近い将来必ず必要になると思うのでなくさないように願っています	65～69歳	馬川地区	パート・アルバイト
	車の運転に今は問題ないか、いずれ必要となる日が来ると思う。全てに満足の行くような事はむずかしいと思うので、一定の運行本数や経路は確保していただきたい。	70～74歳	馬場目地区	無職
	現時点では特に予定はないが、今後必ず利用することになると思う。町の負担は大変だと思うが地域の活力を維持して行くためにも公共交通は欠かせないものと思う。皆で意見を出し合いもっと便利なものにできればよい。	65～69歳	内川地区	パート・アルバイト
	今後、高齢化がすすみ、増々公共交通が大事になります。それらをいろんな人達で検討する機会や場が必要ではないでしょうか。	70～74歳	五城目地区	無職
	今現在はずべて自家用車であるので、問3に関しては全く知識がないのでお答えすることが出来ません。ただし自分が高齢になった時の不安は常にあり少しずつ考えていきたいと思っています。	60～64歳	五城目地区	主婦(主夫)
	バスの利用者が少ない中、他の市町村よりは運行されている方だと思いますが、これから人口が減少していく中でこのまま維持されていくか不安に感じます。	50～59歳	五城目地区	会社員
	免許返納後、利用する事間違いない事です維持大変ですが、宜しくお願いします。	70～74歳	内川地区	主婦(主夫)
	高齢のため運転出来なくなった場合どう処置すれば良いか心配	80歳以上	内川地区	無職
	今は、まだ自分で車を運転するのでバスやタクシーに関するアンケートでは、満足が不満が問われても、よく分からないのが実情です。しかし、いずれ車を手放し、公共交通を利用することになると思います。歩行が大変、荷物を持たない、時間を忘れるなどいろいろな方々に、よい方法を模索し、作りあげてほしいと思います。	60～64歳	五城目地区	パート・アルバイト
	いずれ高齢者多くなり公共交通を使う人が多くなります。時間帯、行き先、いろんな要求が出てくるかと考えますが、幅広く利用かってがよくなるとなかなか今は利用できない。また他県から観光などで来られた時赤字だからと廃止すればいいもっと人が来なくなると思います	65～69歳	五城目地区	パート・アルバイト
	近い将来お世話になると思います。	70～74歳	森山地区	主婦(主夫)
	運転が出来なくなればバスやタクシーを利用すると思う。	65～69歳	五城目地区	無職
	この先の運転手の不足や高齢化が心配です。	40～49歳	馬川地区	自営業
	普段公共交通を利用することがないので、現状どのような使われかたをしているのかよく分りませんが、自家用車等を利用できない方々のために、最低限のサービスは必要かと思ひます。	70～74歳	五城目地区	無職
	町のお年寄りの方達が便利にお買い物などに行けるような町作りをして頂けたら良いと思います。高齢化社会が進んでいるので車がない方たちが楽しくお出掛け出来るようなして頂けたら幸いです。	30～39歳	五城目地区	会社員
	あと5年経つと65才以上が半数をこえると思います。70才～80才の人達のケアをどうしていくか?それに対応できる公共交通が必要となるのでは?村がなくなってしまうための公共交通としてください。	65～69歳	富津内地区	無職
	公共交通(路線バス、乗合バス)が維持出来なければさらに人口減少に拍車が掛り、五城目町は消滅するでしょう。	50～59歳	馬川地区	会社員
	免許の返納を考えても、不自由で、高齢者が自家用車を運転している。何とかまい方法はないだろうか。公共交通は、数少ない社交の場でもあると思う	65～69歳	内川地区	会社員
	月に1回町内の友達と会合したり楽しんでおり内川の方は乗合いバスを利用して買物したり大変助かっており子供と同居してない場合とか大変喜んでおり、今後大いに利用するのでよろしく願ひします。	75～79歳	富津内地区	無職
	人口の減少から、公共交通の必要性は少ないとは思わない。しかし、現状を考えると仕方ない部分はあるが、公共交通のサービス低下は、さらに人口減少の加速となる。	50～59歳	富津内地区	会社員
	今は自家用車で運転しているのでわからない点があります運転が出来なくなった場合は本当に大変かと思ひます	65～69歳	富津内地区	自営業
利用環境	今は車に乗っているが、年をとって自分が運転できなくなったりしたら、そのときは公共交通を利用したいです。	40～49歳	五城目地区	主婦(主夫)
	何年後には乗り合いバスを利用すると思います その時は役場で聞いて利用したいと思っています	70～74歳	富津内地区	無職
料金	デマンド型乗合タクシーの赤字が報告されていますが、これを赤字と言うべきではない。少数でもその町民に手を延べるのが町だと思う。私も免許返納すれば、バス・タクシーを利用する。福祉を手厚く継続しなければ、人口減はさらに厳しくなると思う	65～69歳	大川地区	無職
	近い将来、ほとんどの高齢者は免許証を返納することになる。そうした時のためにも、80歳になって返納するか悩んだが足がないから更新したとの話も聞く。事故のことも心配。交通機関が充実していたら良いと思う。	70～74歳	五城目地区	主婦(主夫)
利用環境	バス停の周りを綺麗に維持して欲しい。	18～19歳	五城目地区	学生
	若い人よりも「老人の足になって、考えてほしいです。歩くスピード、時間のわかりやすさ、バス停の見やすさ、座れる場所、自分が老人になったと思ってどうか、利用しやすい環境を整えて下さい。	40～49歳	五城目地区	会社員
料金	五城目町は広域だが、利用施設の区域は一部に限られる。そのため、郊外の地域の人ほど、公共交通が必要となるが、料金が高くなり不利になる。若いころ、近辺のバス代だけで往復1000円近くかかった記憶がある。定価定額バスがあれば、町全体の人の足にならうのではないか。町全域200円バスなど、生活する上で負担のない額を設定する必要があるのではないか。	40～49歳	富津内地区	パート・アルバイト

表 自由意見 (3/4)

項目	自由意見	年齢	居住地	職業
利用促進	各地域毎に週一回巡回バスがあれば利用が多いと思います。前のボンネットバスの運用方式は計画を聞いた時点で利用は少ないだろうなと思いました。	40～49歳	富津内地区	会社員
	利用者により時間、行き先等が違うので、タクシーの割引券や利用券の促進を図った方が便利なのではないか。地域で送迎できる方の組織化はできないだろうか。(タクシー等の営業妨害になる?)	65～69歳	馬川地区	その他
	主婦無職日中少し時間がある人が、登録制にして自家用車を使い、手配者の移動を手助けしてあげる。事故等の対応に難あるかもしれませんが、あらかじめ誓約書を交わしておくとか。	40～49歳	富津内地区	無職
	町として、1人1人のニーズに答えるような取組がほしい。公共交通ではなくタクシーのような家から目的地まで送迎してくれるようなもの。特に高齢者にとっては月の利用をある程度制限し、予約の形で個別には対応できないものか。	40～49歳	森山地区	公務員
	デマンドタクシーにそれ程赤字が生じているならやめて下さい。必要な人は一般タクシーやバスを使うので介護保険の移送サービス等をもっと使い易くできれば高齢者には助けになると思う、五城目町に行きたいと思う何かを作って	40～49歳	大川地区	会社員
	カーシェアが普及すれば地域で乗合わせが出来たりするのかな。と思います。公共ではなく個人同志で助け合えれば行政も町民も互いに楽かと思えます。	30～39歳	五城目地区	自営業
	各町内会毎巡回方式で買物等に行くようにすればバス会社も助かると考えられる皆さんで協力したい。	75～79歳	五城目地区	主婦(主夫)
	ドライバーなので屋にお酒がのめないのが、残念に思います。その為の交通機関を企画してほしい。	60～64歳	五城目地区	主婦(主夫)
	タクシーに補助を出し、半額で乗れるのであれば車を持っていない人にとっては助かる。特に商店、病院は近づく、乗合タクシーも予約とか乗降所までの距離の問題もある(高齢者には無理)	60～64歳	五城目地区	無職
	高校通学、通勤者への補助を行えば朝のバス、電車利用が進むのではないかと。1100万円の赤字」と知り驚く。若い世代への焦点はどうか、	65～69歳	馬川地区	無職
	近場の観光場所めぐり、日帰りツアー、馬場目ツアー等	70～74歳	五城目地区	主婦(主夫)
	週1～2回便利バスのようなものを走らせてほしい、病院、買物、最寄り駅などを巡回するようなもの。特に冬期は雪のため、バス停まで歩いていくのも大変。12月～3月頃まで1歩も家を出ない生活、うつ状態になったり運動不足など健康にも良くない。五城目町住民が日常通うであろうと思う場所を検討していただき、経路を決めて頂いたら、その場所まで手を上げたら乗り降りできる巡回バス?便利バス?を考えて頂きたい。	70～74歳	五城目地区	主婦(主夫)
	利用した事はないのですがテレビなどで見ると運行路線で乗車した際すきな所で下車する事が出来るシステムをおこなっている所がありました。それを観て良いなあ～と思いました。(現在、その様なシステムになっていたらスマセン)	65～69歳	五城目地区	主婦(主夫)
	問4-3について例えば、朝市定期便、完全予約制とし、5回利用で次回1回分無料とするスタンプ発行で客を集める、とか。主に公共交通を利用する年齢に合わせた時刻で運行していればいいと思う。通勤通学(八郎湯駅からの電車出発到着時間に合わせるとか)通院に合わせるとか。利用したくなる内容にしないと誰も利用しなくなるのと、利用したい人が利用できなくなると思う。	40～49歳	五城目地区	会社員
	私は現在「老人クラブ」に加入しています。会員の多くは女性で買物、通院等ほとんどタクシーを利用しています。そこで会員のだれかを運んで運転してもらい会員の悩みを解消したいと思いますが、(白タク行為でももちろん違法となりますが特別区域を作って町内だけでも会員を送迎できないものではないでしょうか。人を乗せるので誰でもできることではないですが、ボランティアのような利用者にあまりお金の負担がかかり過ぎず、使いたい時にすぐ使える交通ネットワークが作れないものか。担当できる時間・区域を登録して、当日の申し込みでも利用できるもの。一日数時間、週に1、2回でも登録できる人を増やすために2種免許取得に町がお金を負担するとか。会社員では難しいかもしれませんが、自営業、農業など少し時間が作れる方々が協力してくれないものかと。かなり難しいことだとは思いますが。	75～79歳	大川地区	無職
PR	また、免許のいらないシニアカー(スズキのセニアカーなど)や電動自転車購入に町が補助を出すなど。三輪車も前2輪の方がハンドルを切る時に転びにくいし、電動三輪車もあるので、自分たちで移動できる方法も増やせばいいなと思います。自転車に乗れない人でも乗れるようにシニアカーの乗り方の講習会を開くなども。シニアカーは歩道を走らないといけけないので、町の中で注意するところをわかりやすくMAPや写真での説明などもあわせて。	60～64歳	五城目地区	会社員
	免許をもたない義母がよく利用していた。今までの路線に代わるものとして地域の移動手段を考えてくださるのありがたいと思います。現在は利用していないが、アンケート記入のためにいろいろ調べていたら朝市や図書館、プールなどへ外出する際利用できそうなのがわかった。今後利用してみようと思った。もう少しPRしてもらえたらうれしい。	60～64歳	大川地区	主婦(主夫)
	情報発信が少なすぎる。地域の足が無くなれば(既になくなっていて)人口の減少がさらに進みます。	80歳以上	富津内地区	無職
	「秋田駅行き」の路線主なバス停の時間が知りたい。	70～74歳	五城目地区	主婦(主夫)
	病院に行くにも、もう少しバス時間をわかるように、チラシでも教えて下さい	80歳以上	五城目地区	主婦(主夫)
	情報発信に力を入れてほしい。	20～29歳	大川地区	公務員
	PRを充実	70～74歳	五城目地区	主婦(主夫)
	乗合いタクシーは、利用したことがない、どのように利用するのかわからない	70～74歳	五城目地区	主婦(主夫)

表 自由意見（4/4）

項目	自由意見	年齢	居住地	職業
その他	今の状態で充分だと思って生活しています。不平不満ばかりでは自分自身が向上しない。私は町に感謝しています。町の空気の流れが好きです(ゆっくり)交通手段は行ける時間帯に予定をすればいい話だ。	70～74歳	五城目地区	無職
	交通は全て自己責任にすべき。赤字するなら公共交通など社会の汚点でしかない。公共交通とは本来何のために、誰のためにと考えると何も思いつかないのが五城目の公共交通である。「公共交通」がなくて困る人は自力で解決すべきだ。解決できる努力をしない人々に社会が合わせる必要はない。	18～19歳	森山地区	学生
	以前にもアンケート調査を記入した事があります。私の住んでいる地域には必要ないと思っています。	75～79歳	森山地区	無職
	若い世代の人にアンケートを配布しても、公共交通をほぼ利用しない為、高齢者世帯を中心に集中して意見を聞いた方がよい。病気に際しては運転出来なくなり生活維持に支障が出るため、考えてアンケートを配布してほしいです	40～49歳	富津内地区	会社員
	この6月上旬に、施設から自宅に帰って生活している一人暮らしの者です。やっと二足歩行出来ている状態です。週三回のディサービスと週3回のヘルパーさんの介助で生活しております。今の所、外に出るといふ気持ちは全く無く寒くなったら、又施設入所を希望しております。それまでの家での生活でアクシデントの無い様に再び入所するまで、無事にすごせる様に考えておりまして、交通機関に関しては、調べてもありませんし考えたこともありません。設問に対しては不足の点があるかと思いますがどうぞ悪しからず！！	70～74歳	五城目地区	無職
	公共交通に関係ないかもしれませんが、老人車もおして歩けないような道路です。	65～69歳	森山地区	主婦(主夫)
	公共交通に関係ない意見として。舗道の草刈り後の処理、置くところがない状態になっている。(ところもある)	70～74歳	馬川地区	無職
	馬川公民館回りの桜の枝が車にあたり道幅を狭くし冬等はとても危ないです。利用価値の多い公民館ですが外回もスッキリして事故のない様にしたいものです	70～74歳	馬川地区	主婦(主夫)
	今は、自家用車があり、公共交通を利用する必要がないので正直、全く想像がつかず、アンケートを記入していても、解答に困りました。しかし、毎年1100万円以上の赤字がでているのにはびっくりしました。もう少し、考えたほうがいいと思います。町がやっていると心配です。赤字の内訳が知りたいです。	40～49歳	富津内地区	パート・アルバイト
	利用者の声を直接聞いて、すべてを改善する事は不可能ですが、町の予算等あるでしょうから最も利用者にとって良策なのか検討の必要があると思います。	65～69歳	五城目地区	無職
	利用する人が少ないようですが地域の高齢者の人達にとっては有難く感じています	70～74歳	五城目地区	パート・アルバイト
	ある老人が家の前まで乗せてもらって、「よかった。」と感謝しておりました。ドライバーさんにもよるのかな?	70～74歳	富津内地区	その他
	ほとんど年寄りみんな楽しく声をかけ合い利用したいものです。	75～79歳	内川地区	主婦(主夫)
	買物は無理になってくるので、移動販売を町政でやってほしい。国からの援助をうけて。	75～79歳	森山地区	無職
	もっと高齢者や交通が大変な人のことを考えてほしい。時間が少ない	40～49歳	内川地区	会社員
	五城目町難民を作らないでほしい。公共交通は大いに役立ててほしい。	70～74歳	五城目地区	主婦(主夫)
	お手あげ状況に感じています。鉄道も路線バスも気軽に利用していた頃がなつかしい。	70～74歳	五城目地区	無職
	町の人が困らないようにしてくれたいと思います。	30～39歳	五城目地区	主婦(主夫)
	自家用車がない人は本町部へ用事があれば必ず利用すると思う。例、(病院等へ)	65～69歳	馬場目地区	無職
	高齢者が多いわが町は、現在町が主体的に運行しているデマンド型に頼るしか今は手段がありませんが、毎年1100万円の赤字も大きな財政圧迫です。長く続けられないのでは?早く別の手段を考えなくてはなりません。	65～69歳	五城目地区	会社員
	機会もないですが、今後利用したいと思います。老人ばかりで利用するのがちょっとイヤかも??	65～69歳	馬場目地区	パート・アルバイト
	人口減のためにデマンド型の乗合タクシーになり、車の無い人にとっては、大変良い事業かと思いますが、赤字の額が心配ですね。	65～69歳	馬場目地区	主婦(主夫)
	自家用車の保有率が高いのに、わざわざ公共交通の取組はあまり必要ない。電車もないので、遠方への利用手段にもならない。	30～39歳	森山地区	会社員